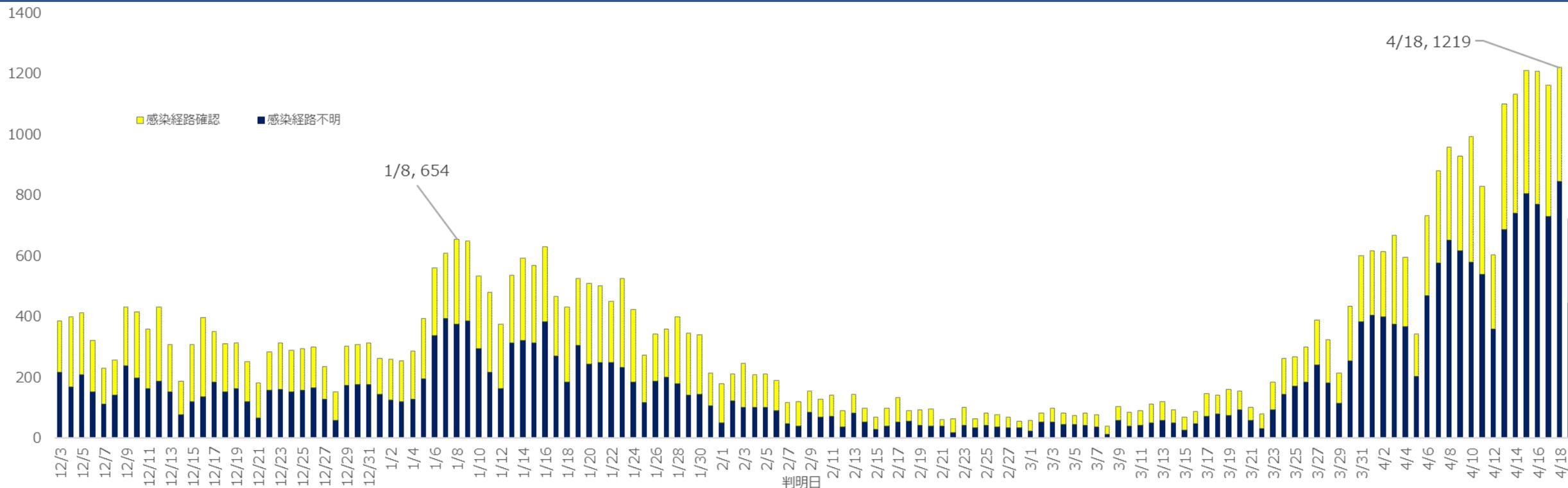


陽性者数の推移



12月3日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）

12月4日 レッドステージ1移行
府民へのできる限り不要不急の外出自粛要請

12月16日～1月13日 府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域への時短要請等

市内 21時

12月26日 全ての国・地域からの外国人入国拒否

1月9日 緊急事態宣言発出要請

1月14日～2月28日 緊急事態措置
レッドステージ（非常事態）2移行
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

府域 20時

2月23日 緊急事態宣言解除要請

3月1日～緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓送迎会・謝恩会・宴会伴う花見の自粛要請
大阪市全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不要不急の外出自粛要請（21日）
首都圏への往来自粛要請（22日）等

市内 21時

3月31日 まん延防止等重点措置要請

4月1日～ 大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

4月5日～まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域（大阪市）
時短要請 20時

4月7日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）

4月8日 府域における不要不急の外出移動自粛要請

4月9日 週末の外出移動自粛要請

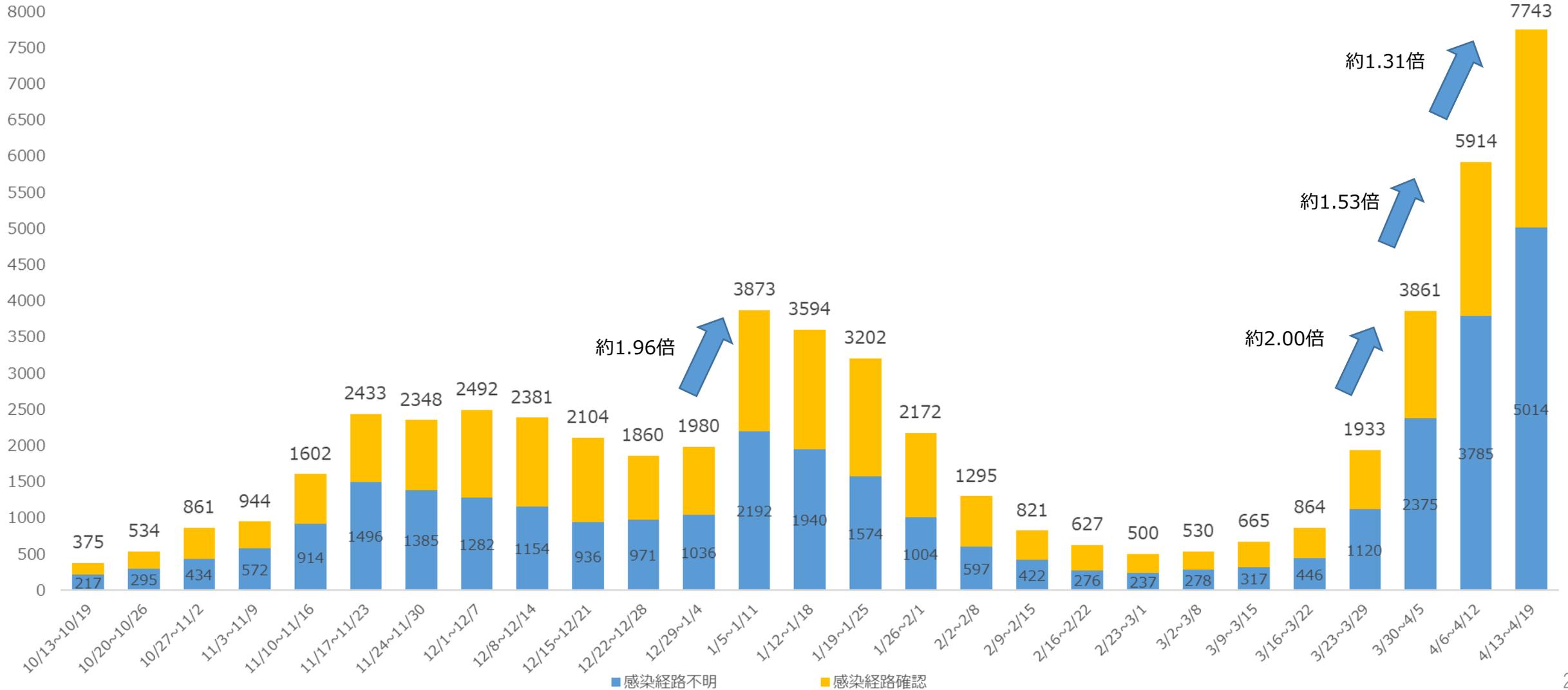
4月14日 大学等でのオンライン授業実施や
学校での部活動休止、テレワーク
徹底等を要請

府域 21時

市内 20時・市外 21時

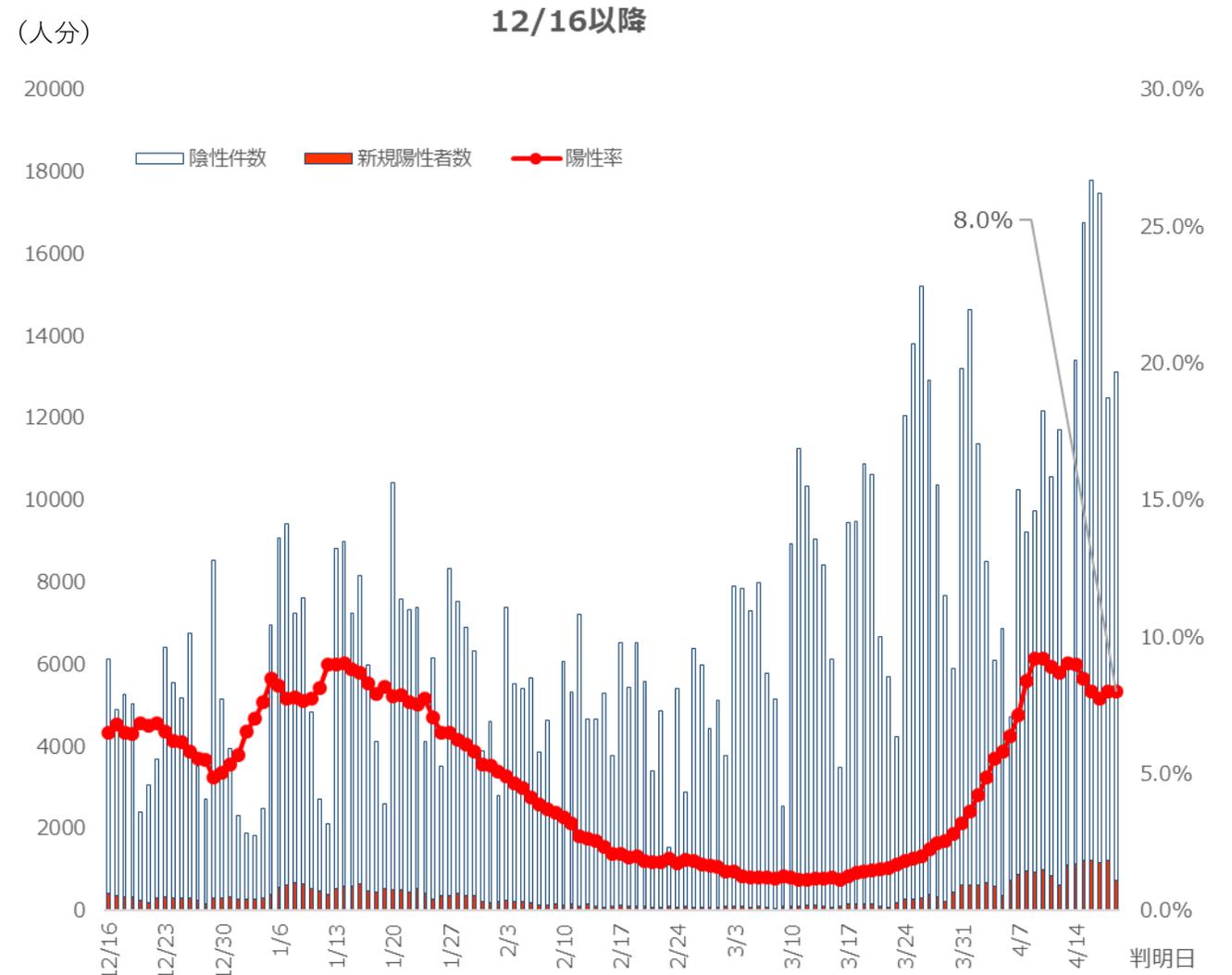
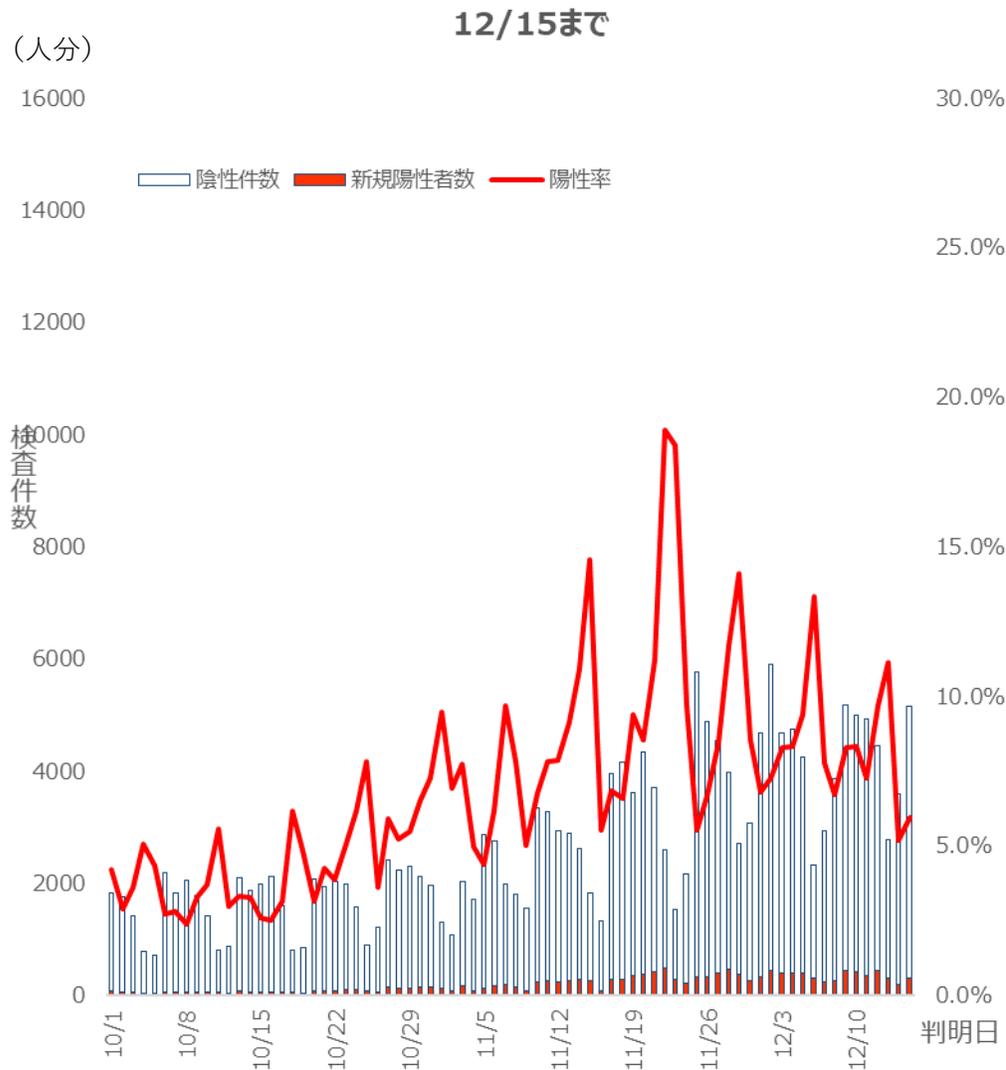
7日間毎の新規陽性者数

第四波は、依然感染が鈍化せず、急拡大し、4/18まではほぼ連日、過去最多を記録。
(直近1週間の新規陽性者数一日平均約1,106名)



検査件数と陽性率

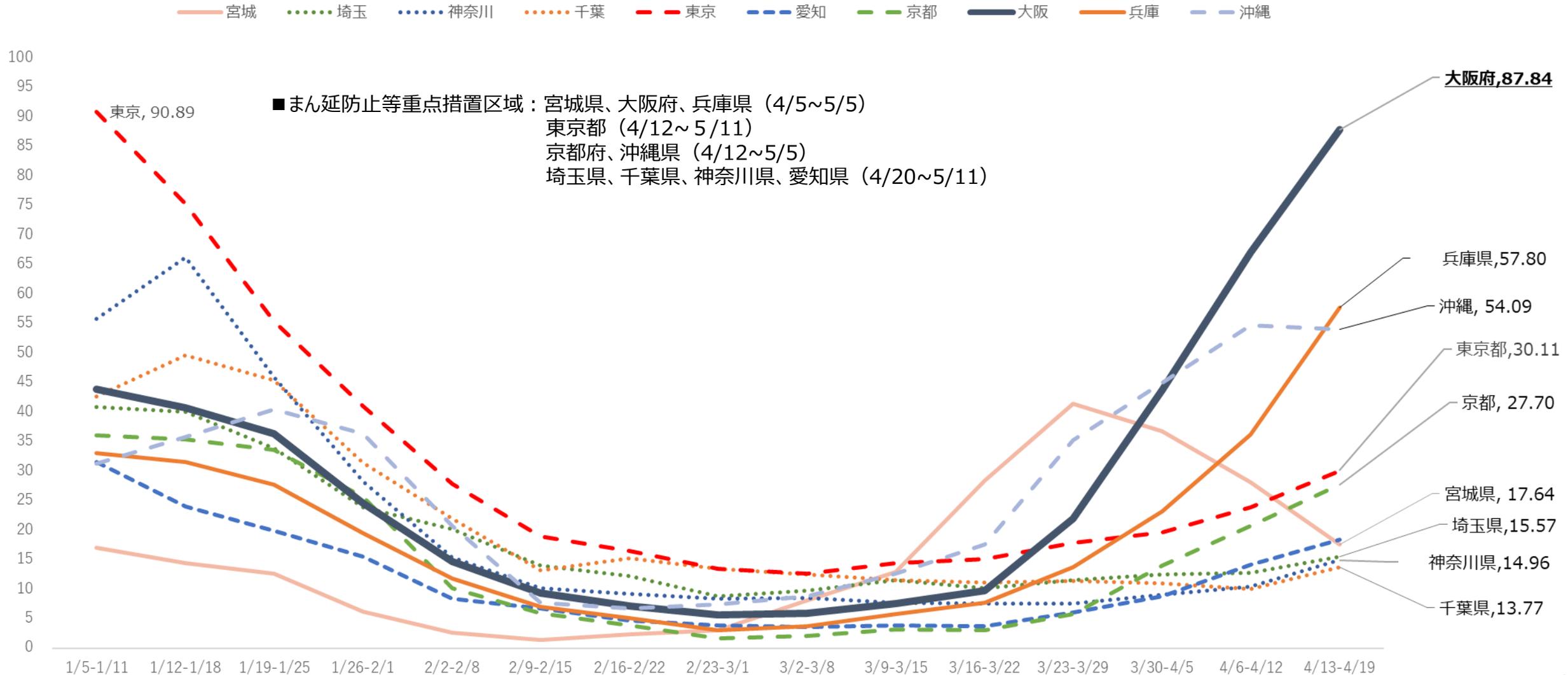
感染拡大に伴い、陽性率が急上昇した後、やや微減傾向。



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数／1週間の検体採取をした人数」に変更

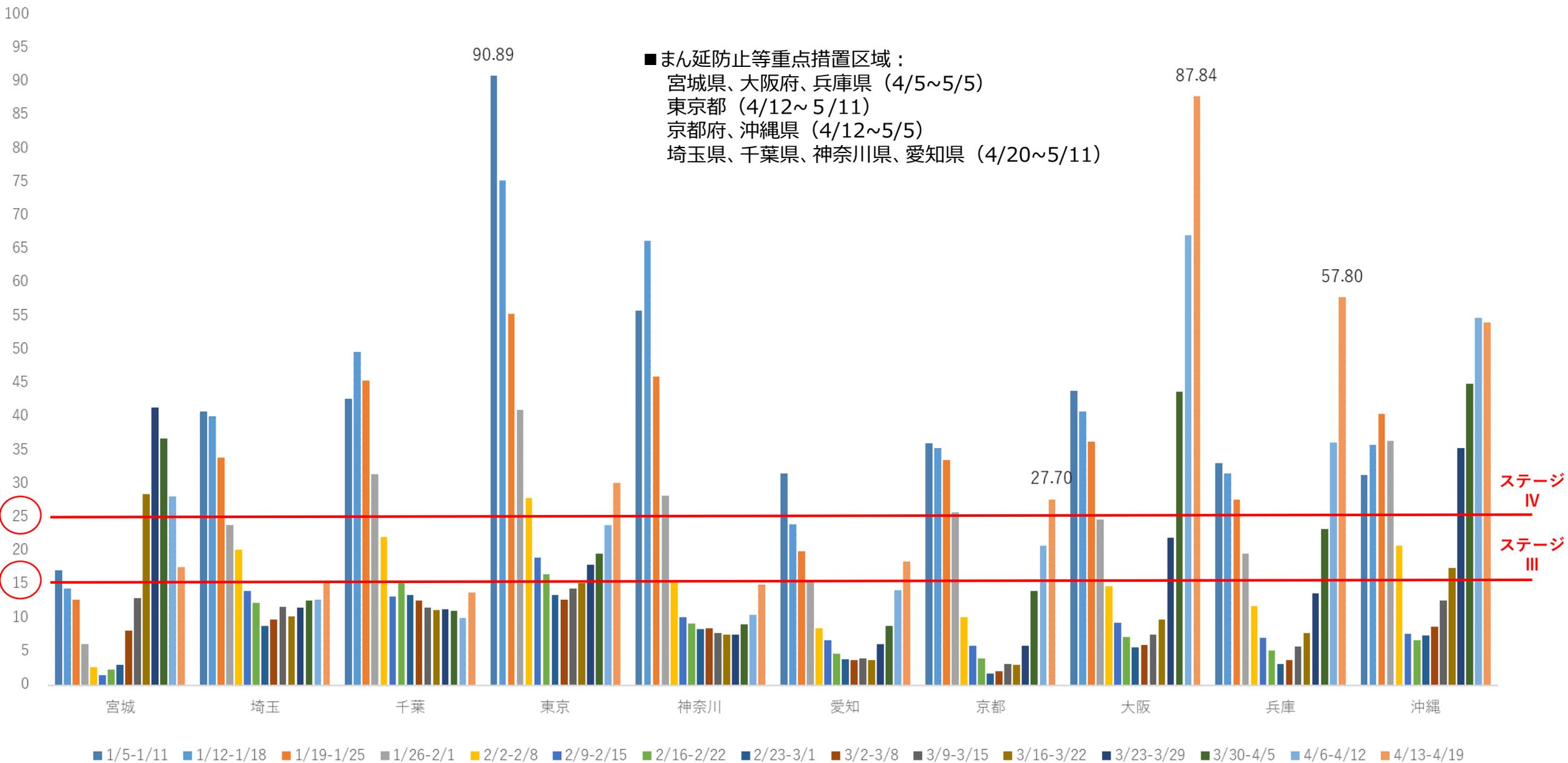
週・人口10万人あたり新規陽性者数(まん延防止等重点措置区域)

大阪府の直近1週間人口10万人あたり新規陽性者数は1月の緊急事態宣言下の東京の発生状況(最大90.89人)並みまで急上昇。



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

週・人口10万人あたり新規陽性者数 (まん延防止等重点措置区域)



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

- ◆ 重症病床のひっ迫を受け、臨時の病床確保や軽症中等症患者受入医療機関等における重症者の治療継続の対応を行っているが、病床はほぼ満床状態。
- ◆ 軽症中等症病床使用率も4/18から連日過去最多となり、極めてひっ迫。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.54	1.50	1.43	1.38	1.34	1.36	1.32	3/31をピークに減少傾向
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	571.71	595.43	617.29	639.14	660.29	704.00	716.29	3/1以降、増加
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	62.4%	65.5%	66.5%	63.7%	62.6%	69.3%	61.8%	3/24以降、50%を超過したまま推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数 うち後半3日間	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	6282	6533	6784	7064	7234	7626	7743	3/3以降増加
			—	—	—	2528	2831	3437	3545	3576	3587	3099	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	71.26	74.11	76.96	80.14	82.06	86.51	87.84	3/31に25人（ステージIV基準）超過して以降急増
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	9.0%	9.0%	8.4%	8.0%	7.7%	8.0%	8.0%	3/17以降増加
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床使用率	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	95.1% (93.8%)	97.8% (94.4%)	100.9% (93.8%)	102.2% (92.3%)	105.4% (95.2%)	108.9% (98.4%)	110.7% (97.6%)	4/10以降連日過去最多（第一波を除く）
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	63.2%	63.6%	67.2%	69.7%	72.4%	77.9%	79.1%	2021/4/18以降連続して過去最多（第一波を除く）
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	32.7%	30.9%	29.2%	27.6%	31.1%	33.1%	36.0%	4/17以降増加

大阪モデルの重症病床使用率は、病床確保計画の確保病床数224床で算出。括弧内は、病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含む。患者数は、対応できる人材や設備が整っている軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数を除く。

4/1 まん延防止等重点措置適用（4/5～）を受け、大阪市域の飲食店・遊興施設に対する時短要請（20時まで）を決定（第43回対策本部会議）
 4/7 大阪モデル赤信号点灯（医療非常事態宣言）、府域における不要不急の外出移動自粛要請等を決定（第44回対策本部会議）
 4/14 大学等でのオンライン授業実施や学校での部活動休止、テレワーク徹底等を要請

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

4月5日に、陽性率を除き、ステージⅣの基準を上回り、各指標の数値は以後も急上昇。

指標		ステージⅣ 目安	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/19時点の 目安に対する状況	
ステージⅣ	医療提供体制等の負荷 医療のひっ迫具合	①確保病床占有率	50%以上	66.7% (1,338/2,005)	67.4% (1,351/2,005)	70.9% (1,422/2,005)	73.3% (1,470/2,005)	76.1% (1,525/2,005)	81.3% (1,631/2,005)	82.6% (1,657/2,005)	●
		②入院率	25%以下	14.1% (1,338/9,522)	13.4% (1,351/10,073)	13.0% (1,422/10,940)	12.6% (1,470/11,672)	12.3% (1,525/12,384)	12.3% (1,631/13,239)	12.3% (1,657/13,475)	●
		③重症病床確保病床占有率	50%以上	63.8% (296/464)	65.1% (302/464)	69.8% (324/464)	72.6% (337/464)	75.4% (350/464)	76.5% (355/464)	80.0% (371/464)	●
		④人口10万人あたり療養者数	30人以上	108.02	114.27	124.11	132.41	140.49	150.19	152.86	●
	感染の状況	⑤陽性率 1週間平均	10%以上	9.0%	9.0%	8.4%	8.0%	7.7%	8.0%	8.0%	○
		⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	25人以上	71.26	74.11	76.96	80.14	82.06	86.51	87.84	●
		⑦感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	63.7%	63.8%	63.7%	63.3%	63.9%	64.6%	64.8%	●

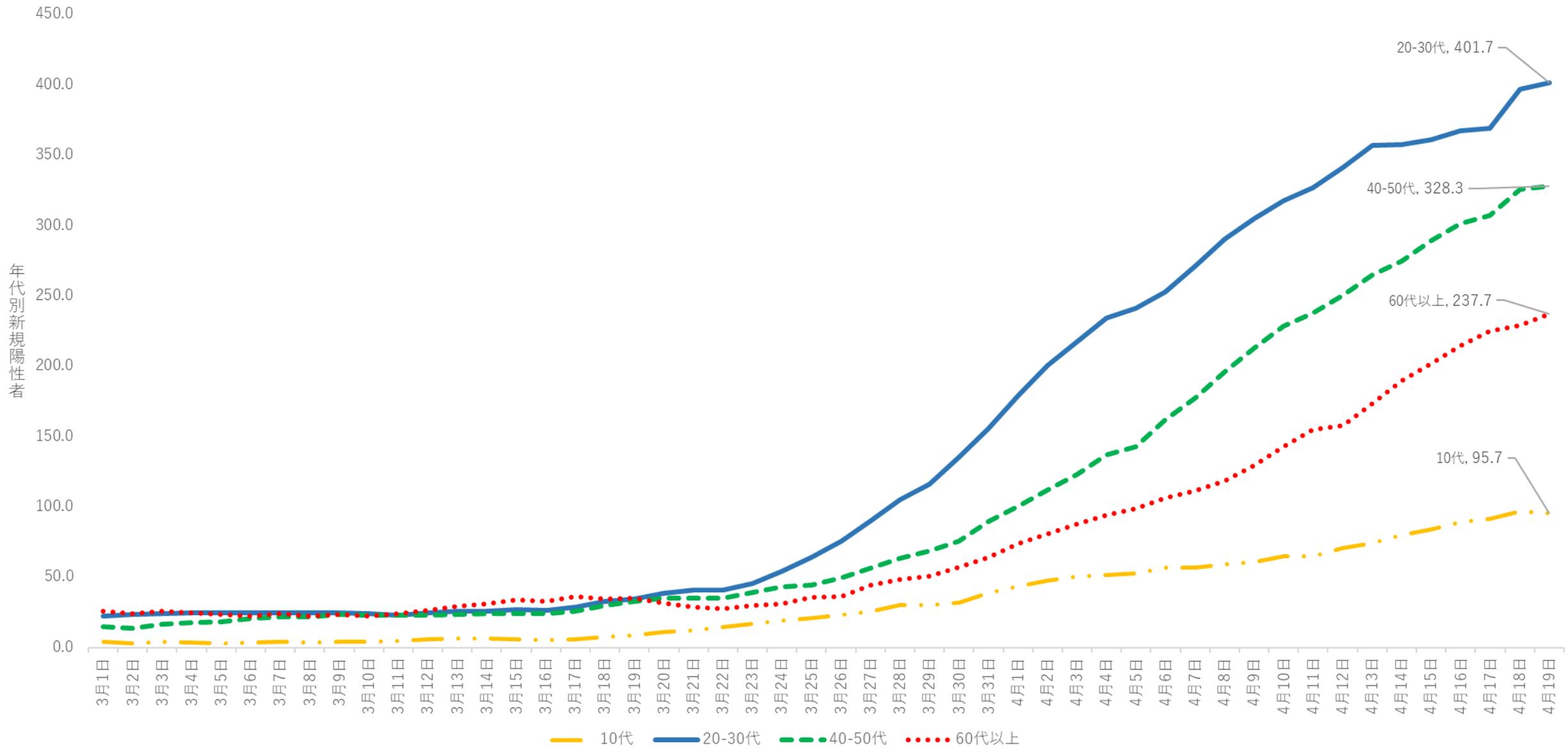
人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。

4/1 まん延防止等重点措置適用（4/5～）を受け、大阪市域の飲食店・遊興施設に対する時短要請（20時まで）を決定（第43回対策本部会議）
 4/7 大阪モデル赤信号点灯（医療非常事態宣言）、府域における不要不急の外出移動自粛要請等を決定（第44回対策本部会議）
 4/14 大学等でのオンライン授業実施や学校での部活動休止、テレワーク徹底等を要請

●：基準外 ○：基準内

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

各年代で依然増加傾向にはあるが、直近1日はやや鈍化。



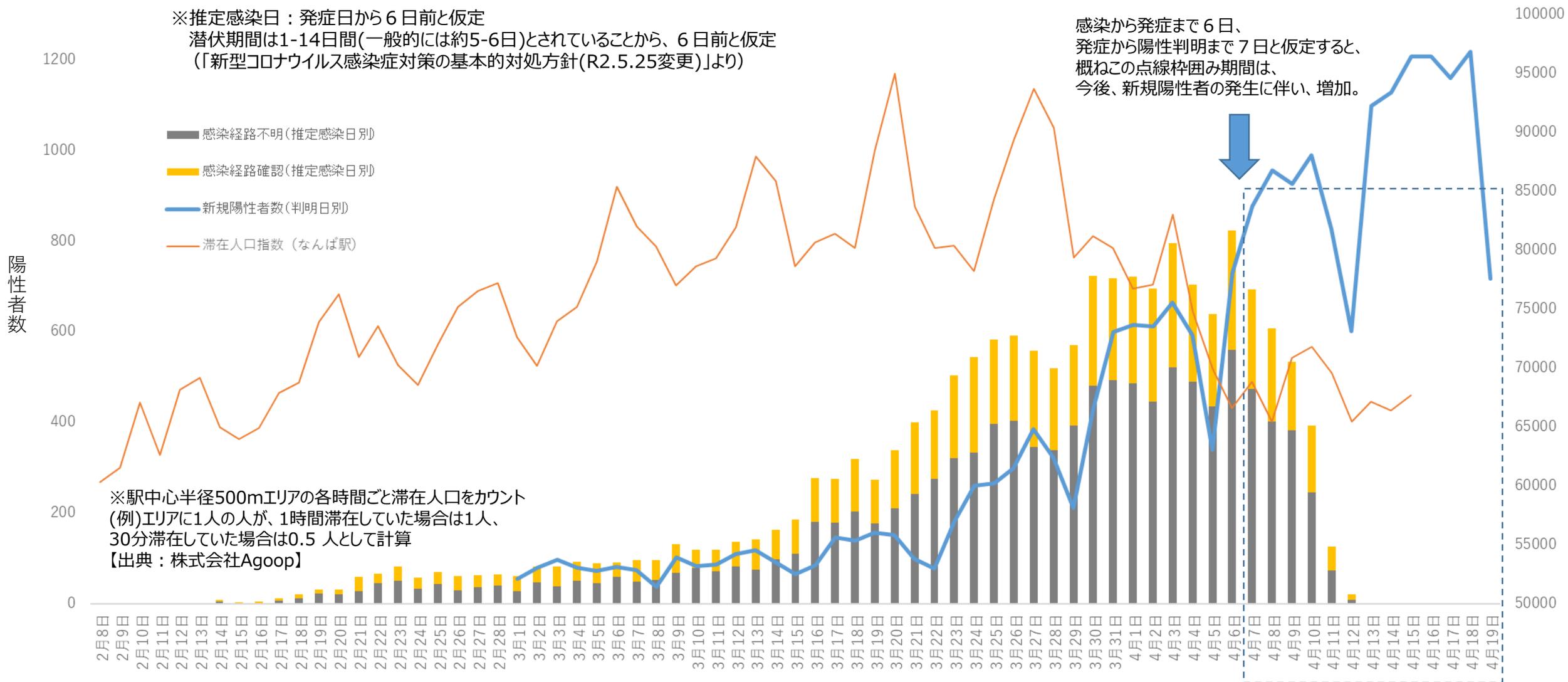
【第四波】推定感染日別陽性者数

人流は減少傾向にあるが、推定感染日別陽性者数は、減少していない。

(3月1日以降4月19日までの判明日分) (N=16,768名(調査中、不明、無症状4,798名を除く))

※推定感染日：発症日から6日前と仮定
潜伏期間は1-14日間(一般的には約5-6日)とされていることから、6日前と仮定
(「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より)

感染から発症まで6日、
発症から陽性判明まで7日と仮定すると、
概ねこの点線枠囲み期間は、
今後、新規陽性者の発生に伴い、増加。

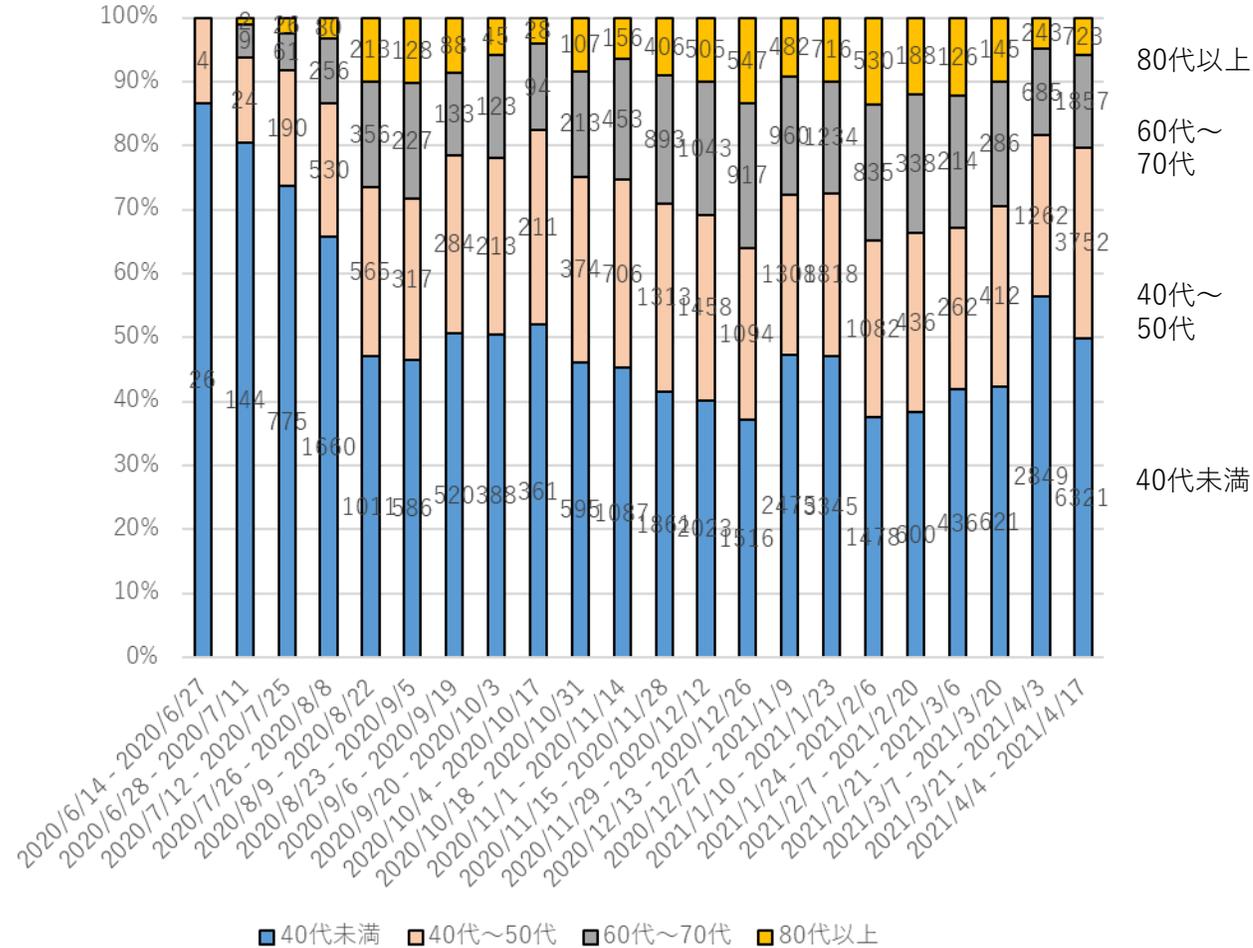


陽性者の年齢区分

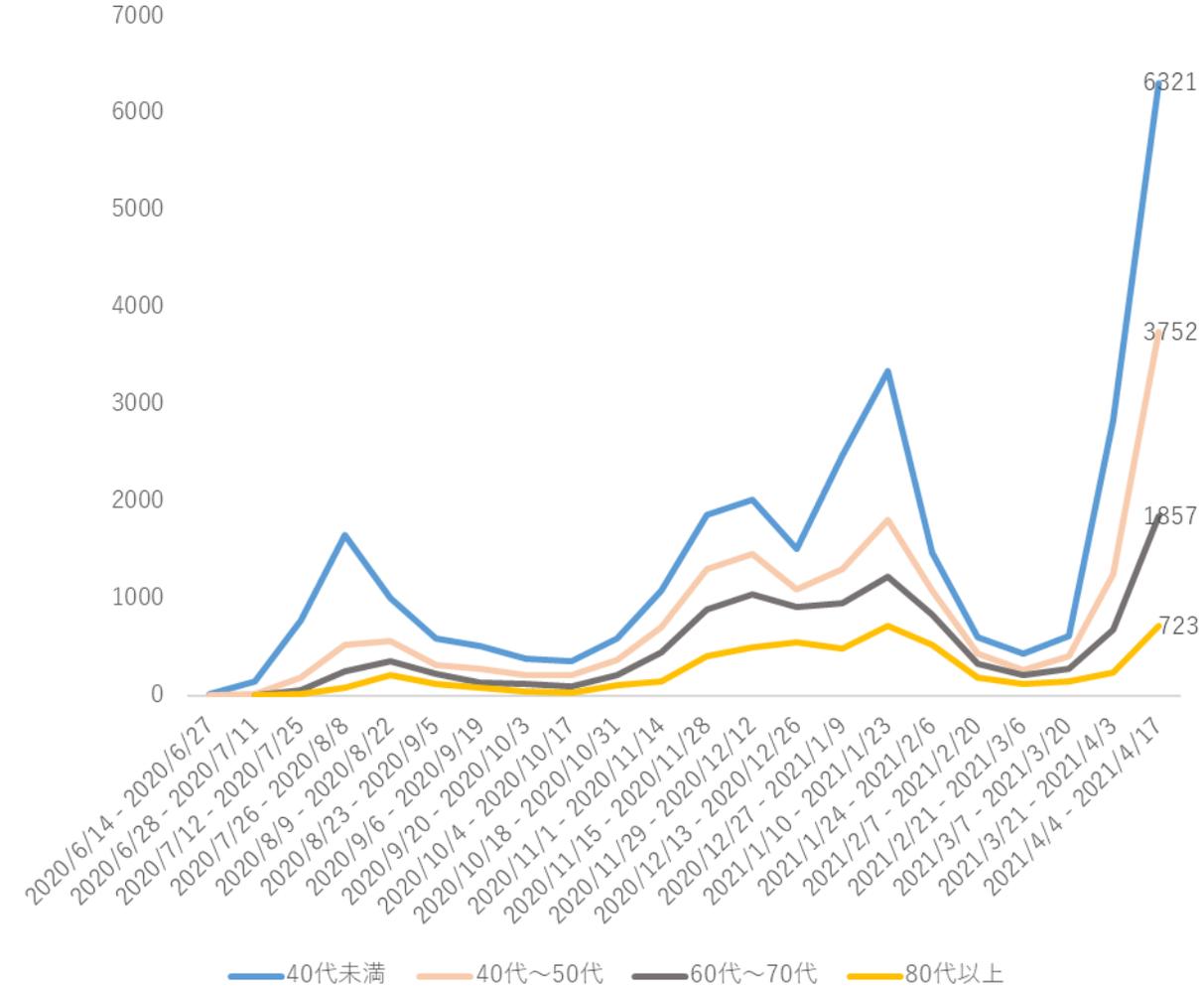
直近2週間で40代未満の割合は5割と依然高く、実数でも急増。

(6月14日以降4月17日までに判明した64,964事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)

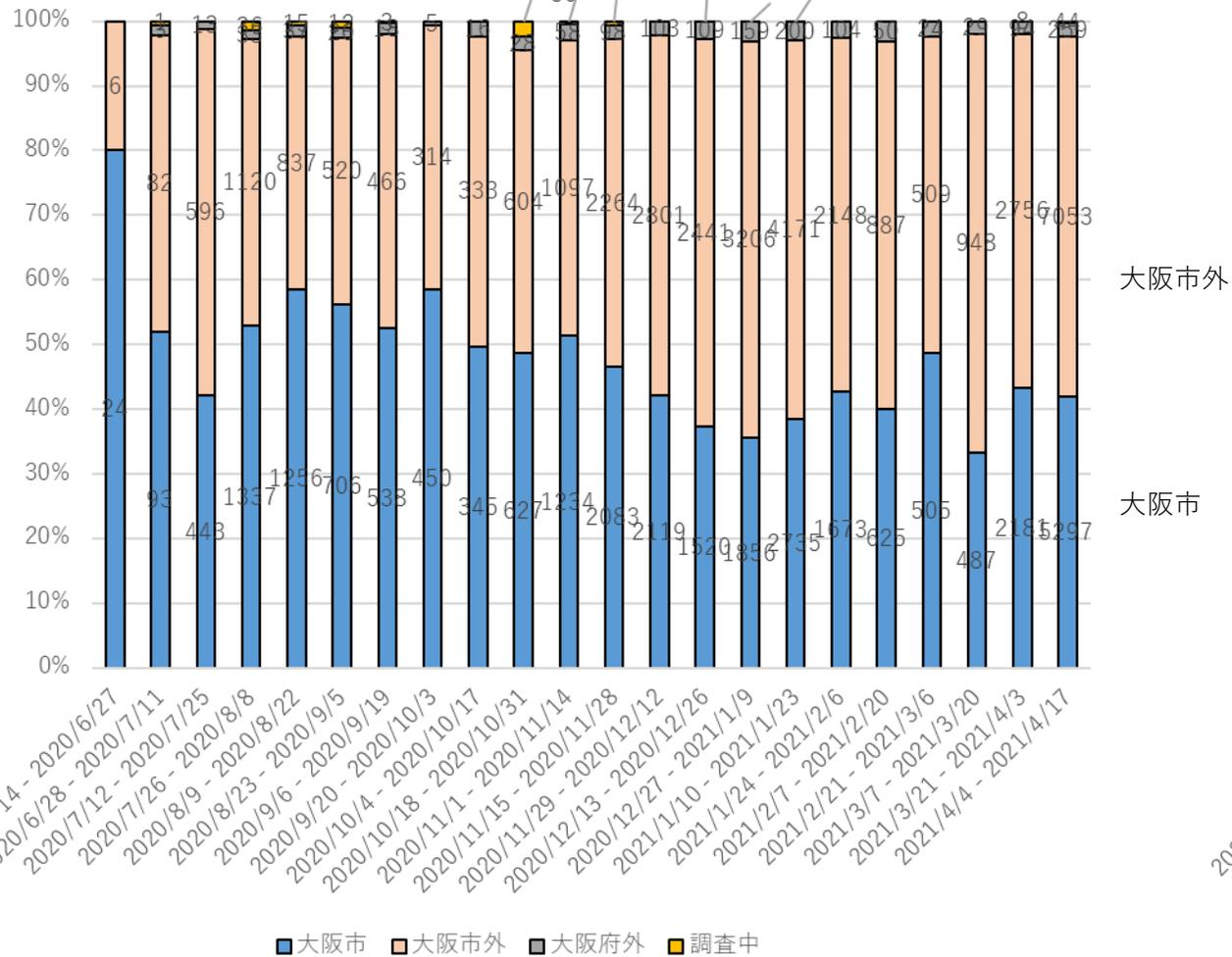


陽性者の居住地

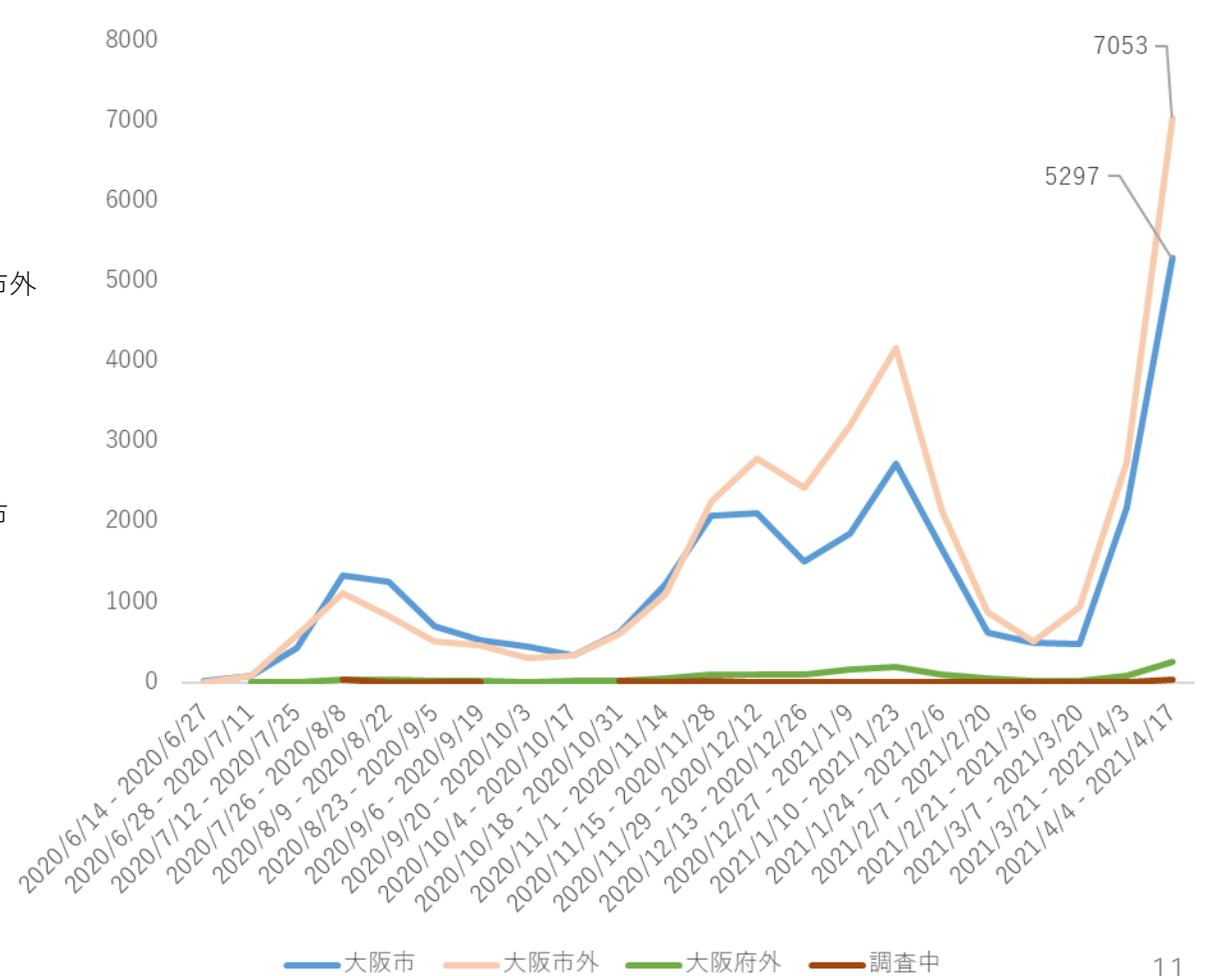
直近2週間で、大阪市内居住者は4割強、市外で6割弱であり、実数はともに急増。

(6月14日以降4月17日までに判明した64,964事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



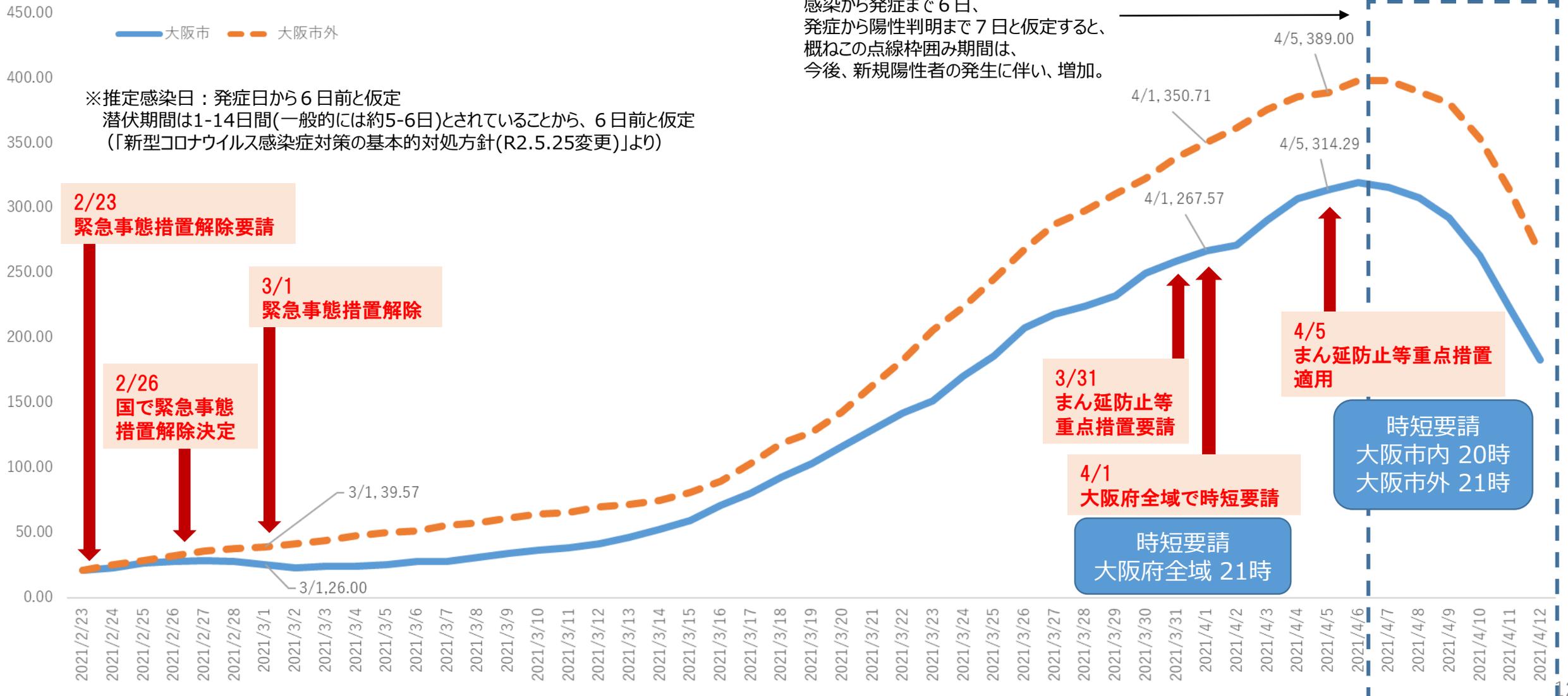
陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)



推定感染日別新規陽性者数（大阪市・市外 7日間移動平均）

※市内外は居住地による
 ※発症日が調査中、不明、無症状等を除く

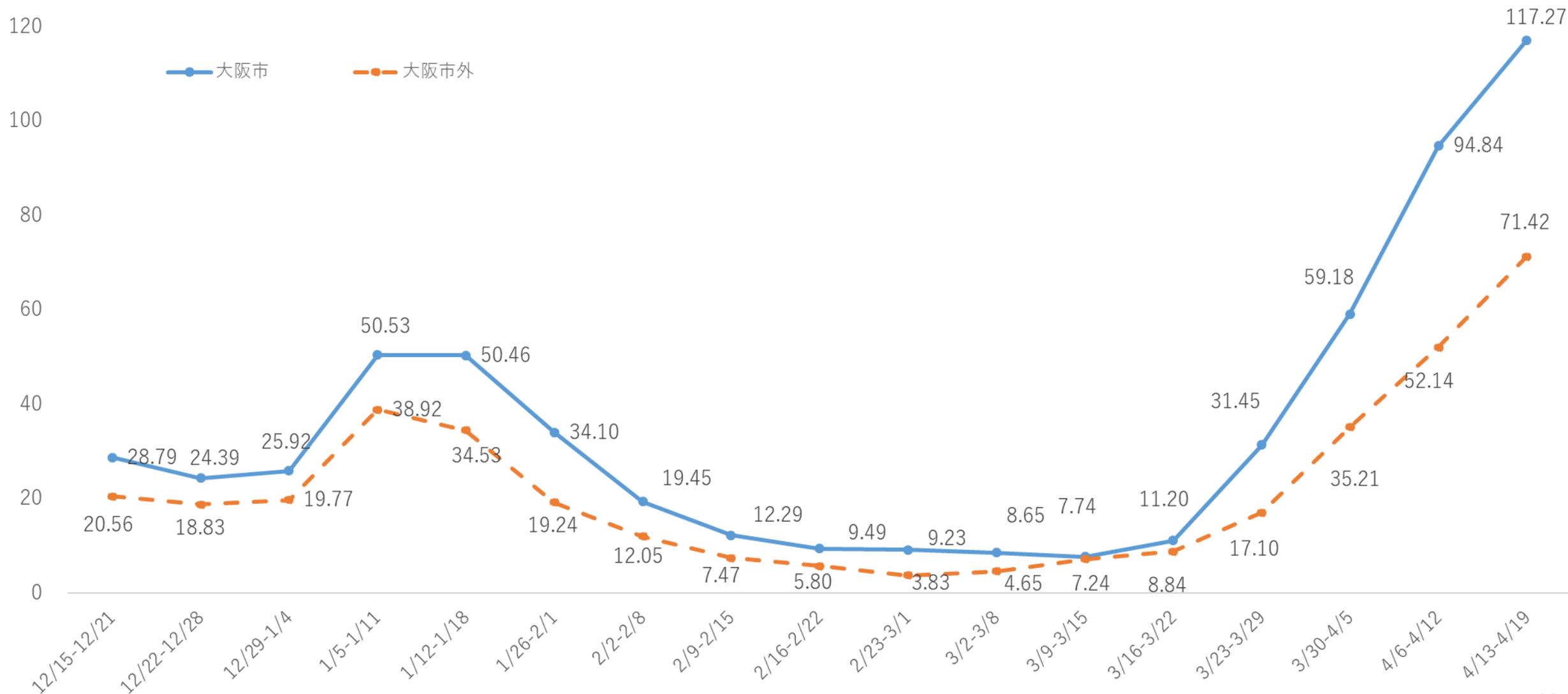
4/1より府全域で時短要請（21時まで）を行っているが、4/1以降に感染したと推定される市外の新規陽性者は増加。
 4/5より市内を対象に時短要請（20時まで）を行っているが、4/5、6に感染したと推定される市内外の新規陽性者は増加。



大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近4週間で、大阪市内居住者は約10倍、大阪市外居住者は約8倍と急増。

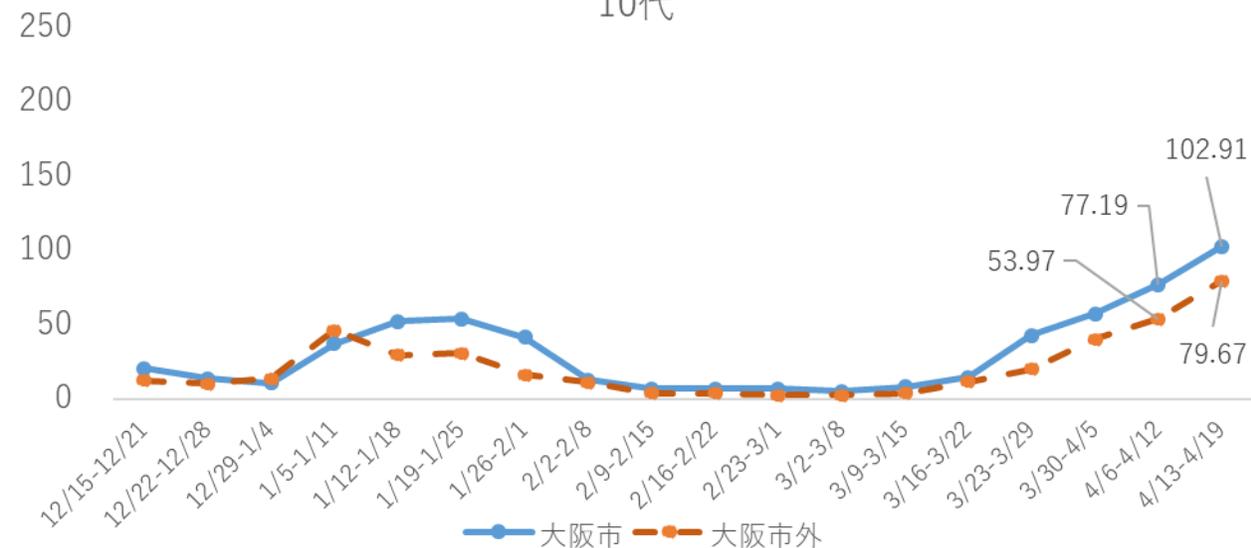


大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

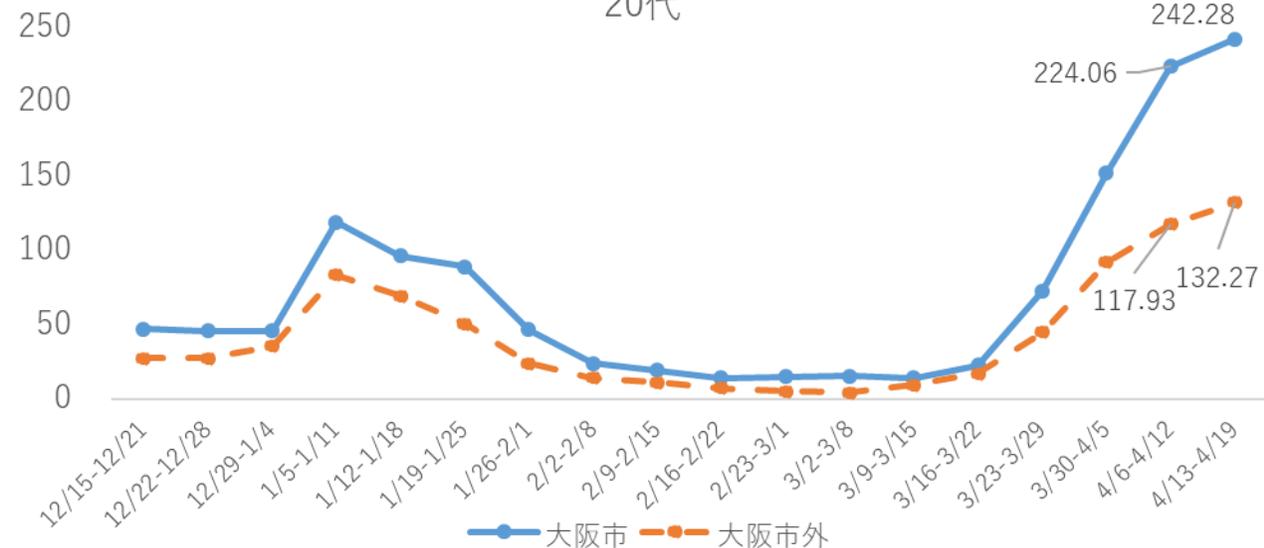
※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近4週間で、人口10万人あたり新規陽性者数は、市内外・各年代で急増。

10代



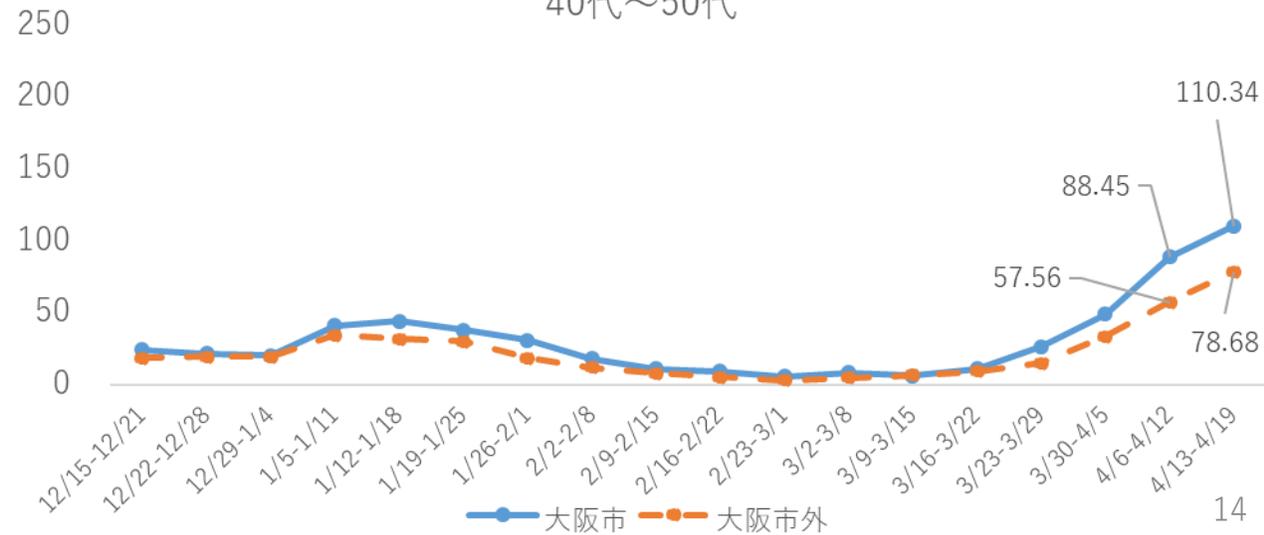
20代



30代



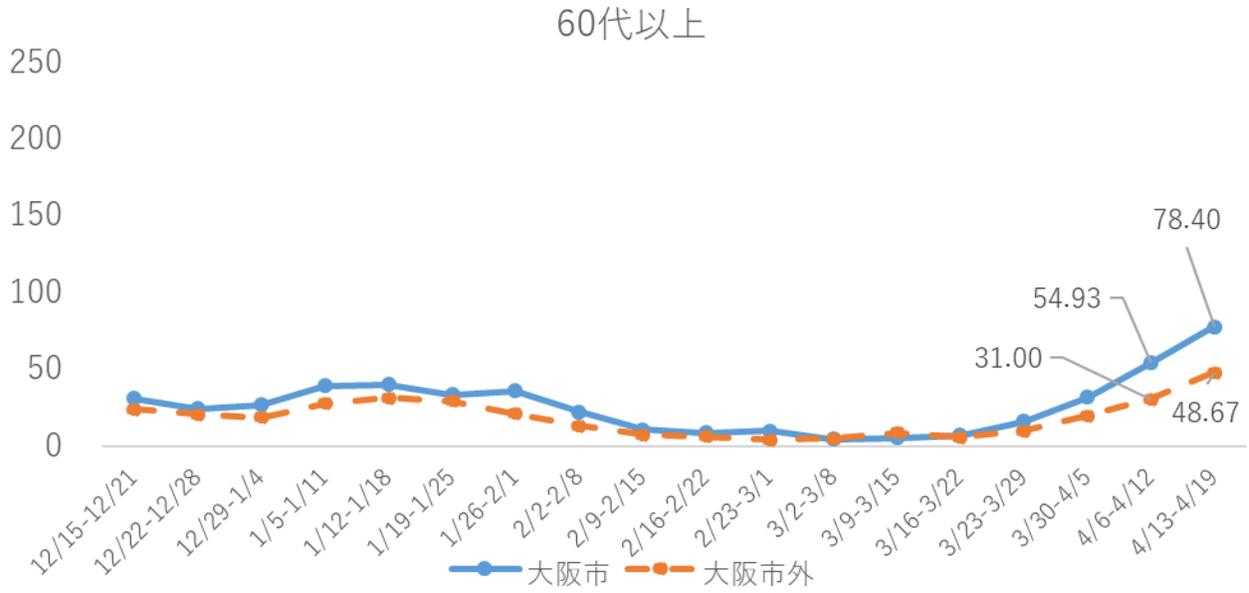
40代～50代



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

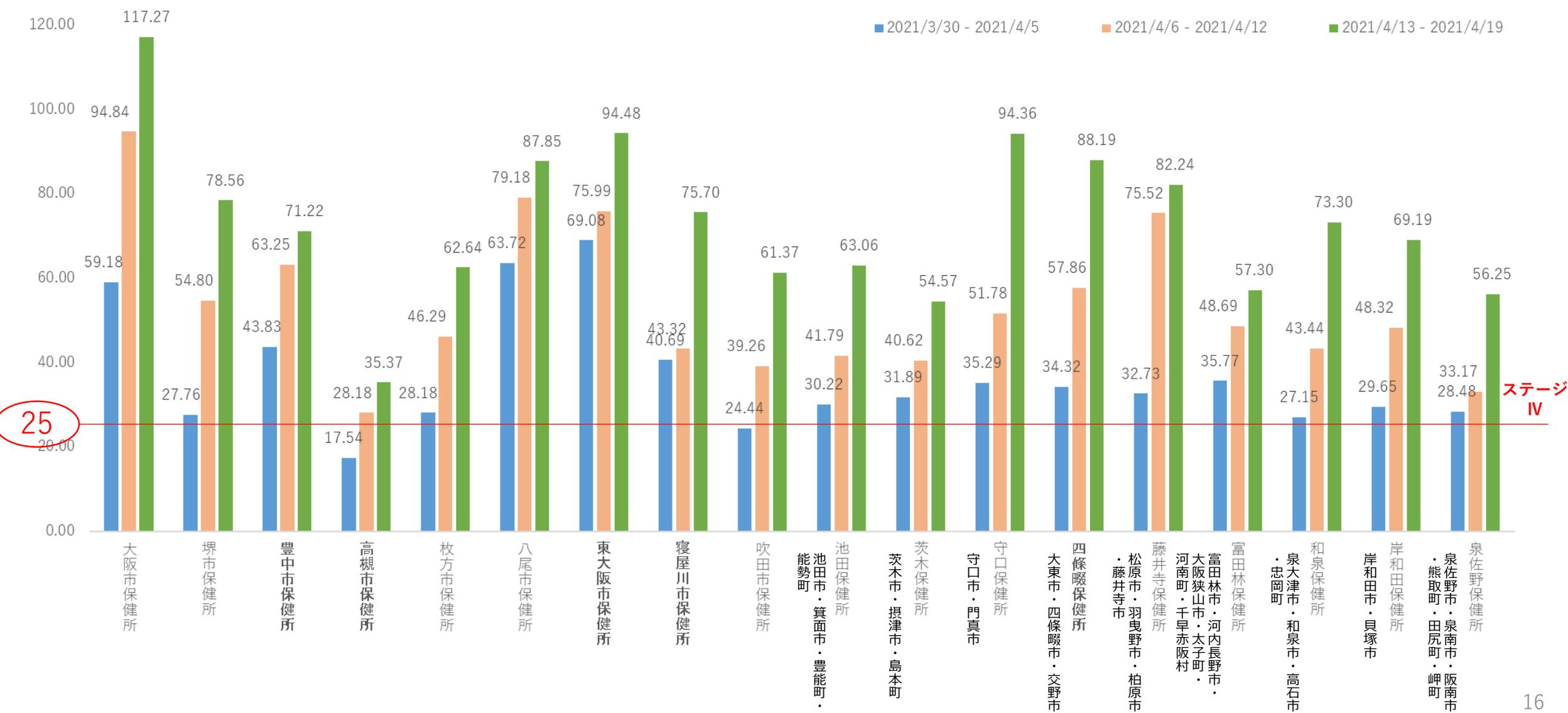
直近4週間で、60代以上の人口10万人あたり新規陽性者数は、市内外ともに急増。



保健所管内別陽性者比較（人口10万人あたり）

※居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

いずれの保健所管内も、ステージⅣの基準を大きく超過。

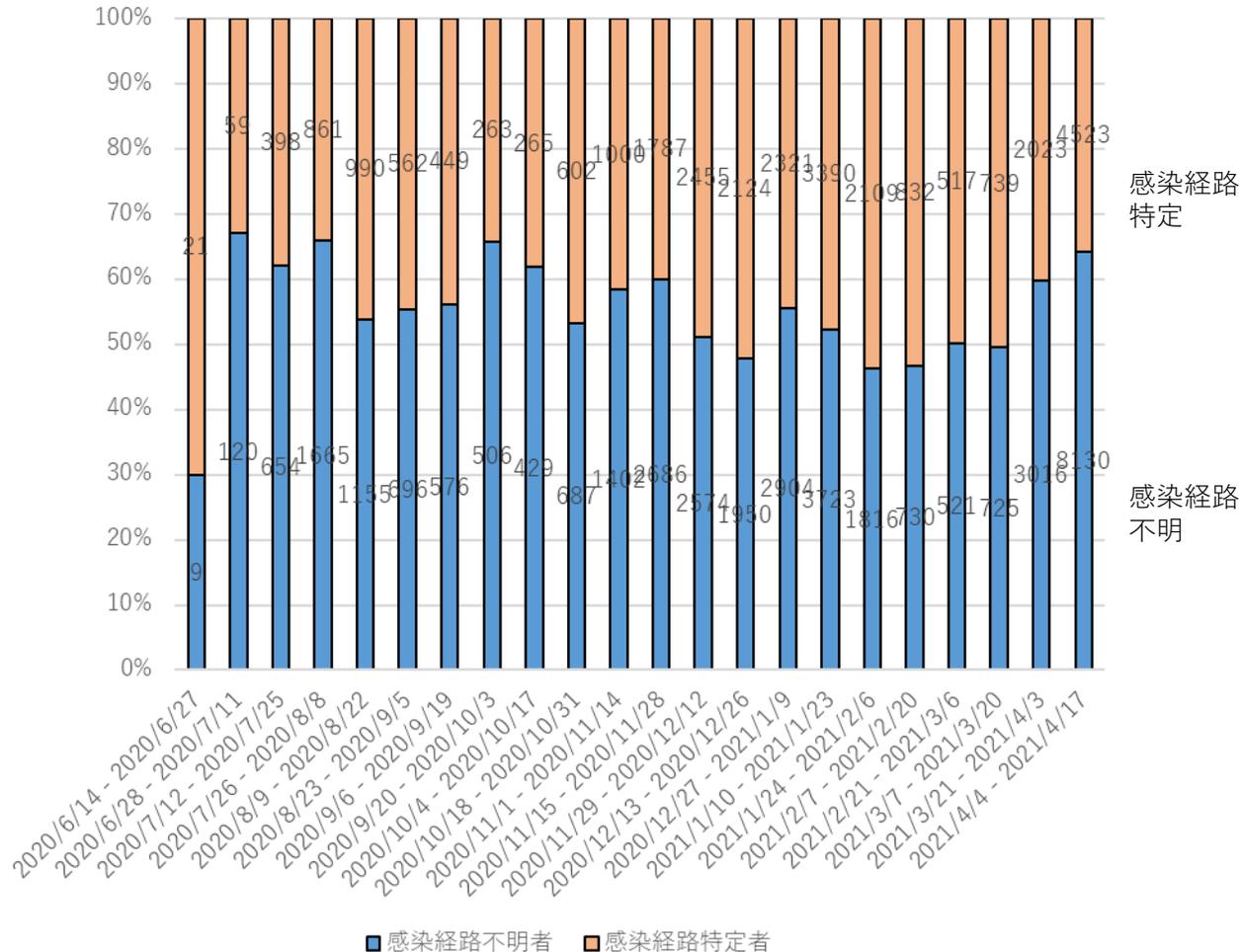


陽性者の感染経路の状況

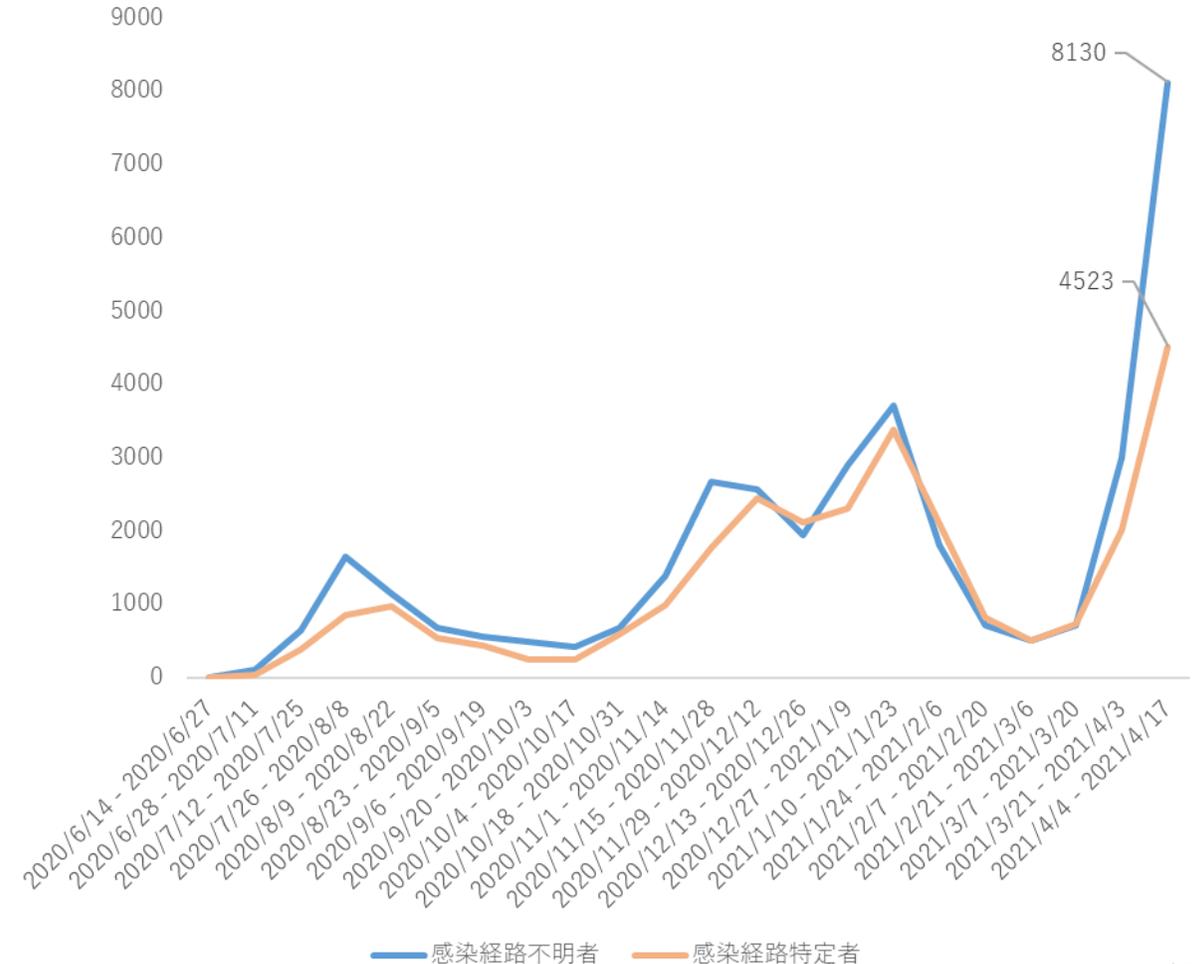
直近2週間で、感染経路不明の割合が6割を超え、実数でも感染経路不明者数が急増。

(6月14日以降4月17日までに判明した64,964事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)

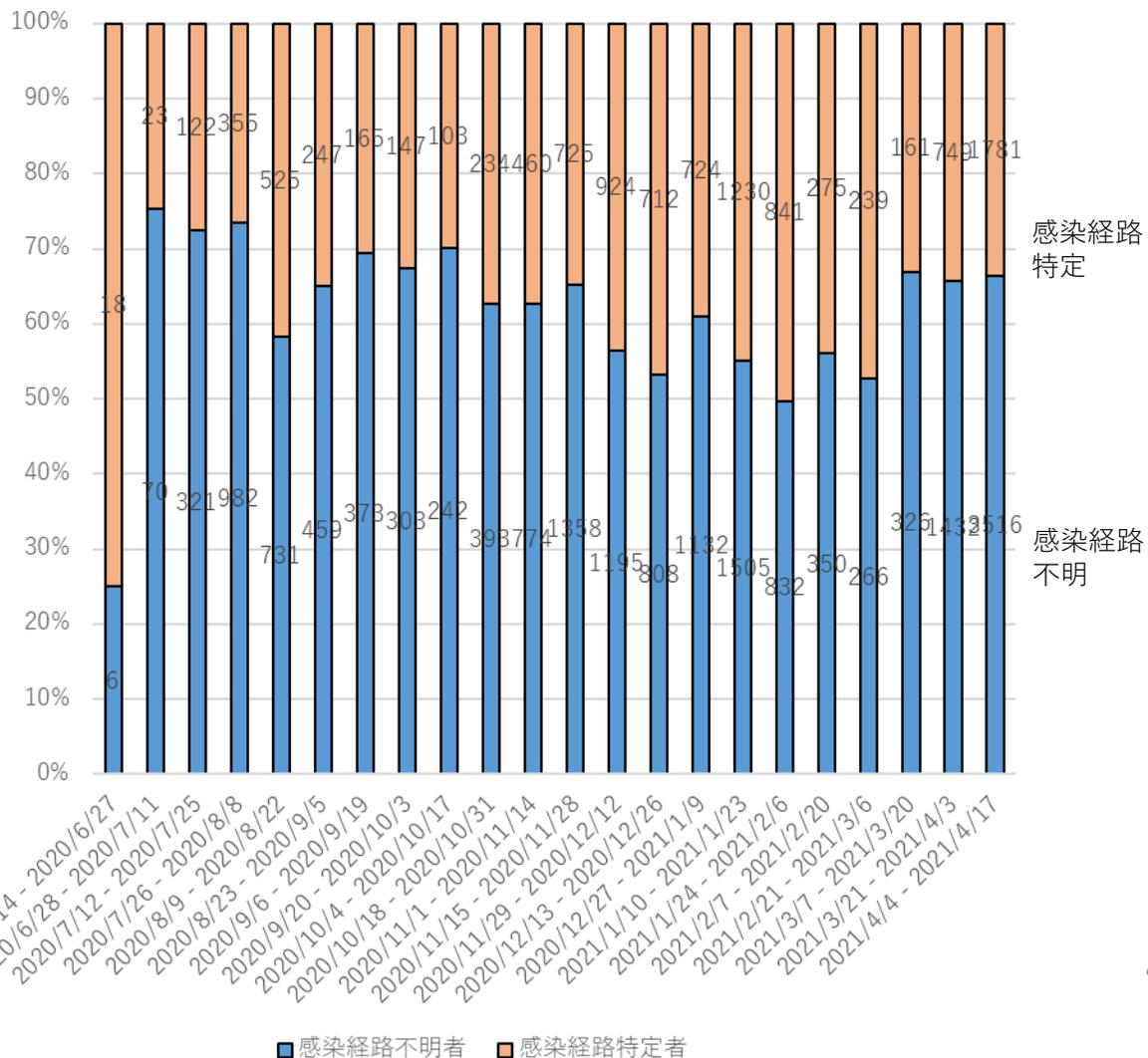


陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

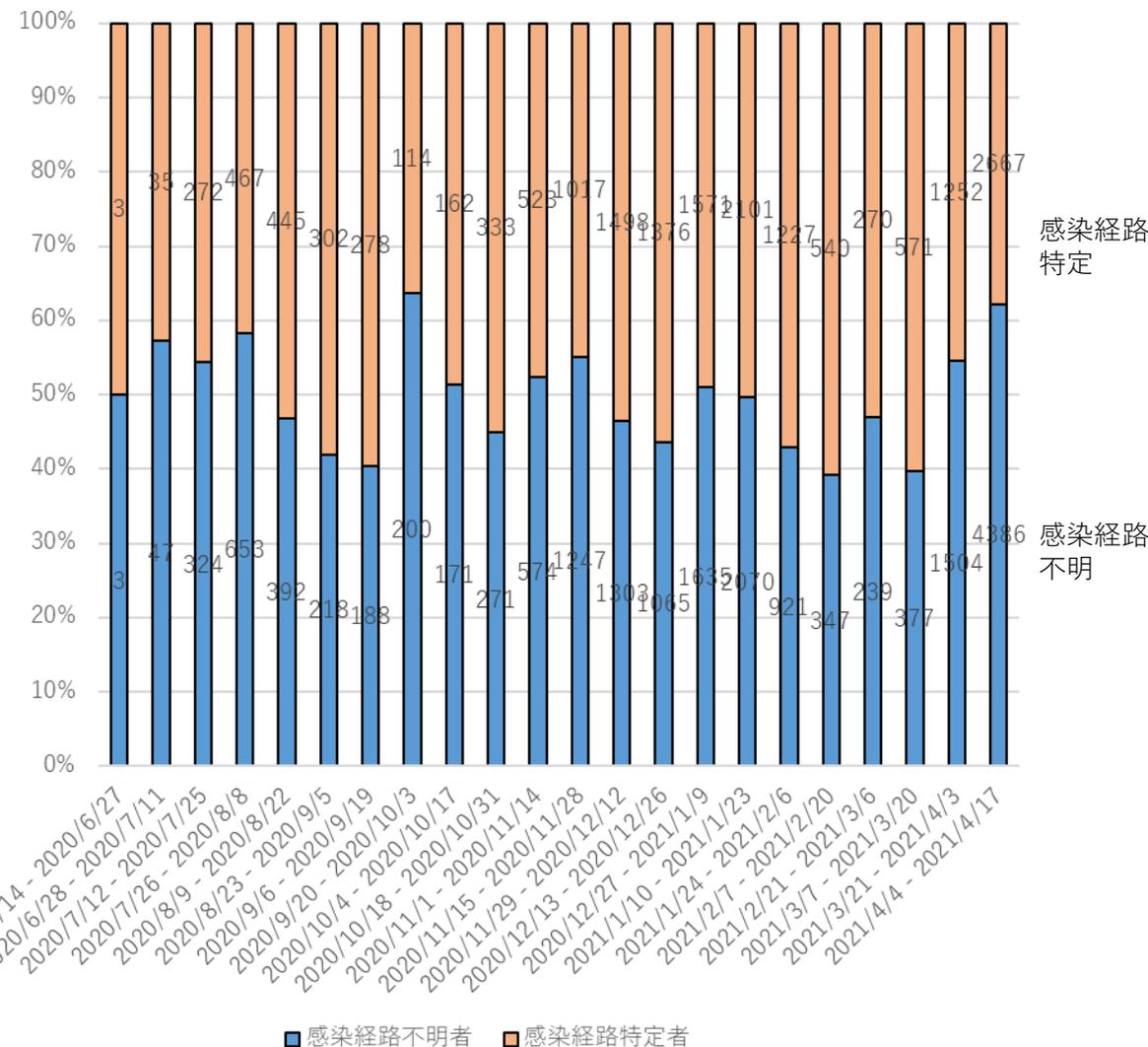
※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近2週間における感染経路不明割合は、市内居住者が7割弱と依然高く、市外居住者も急増し、6割を超過。

感染経路の状況（大阪市）



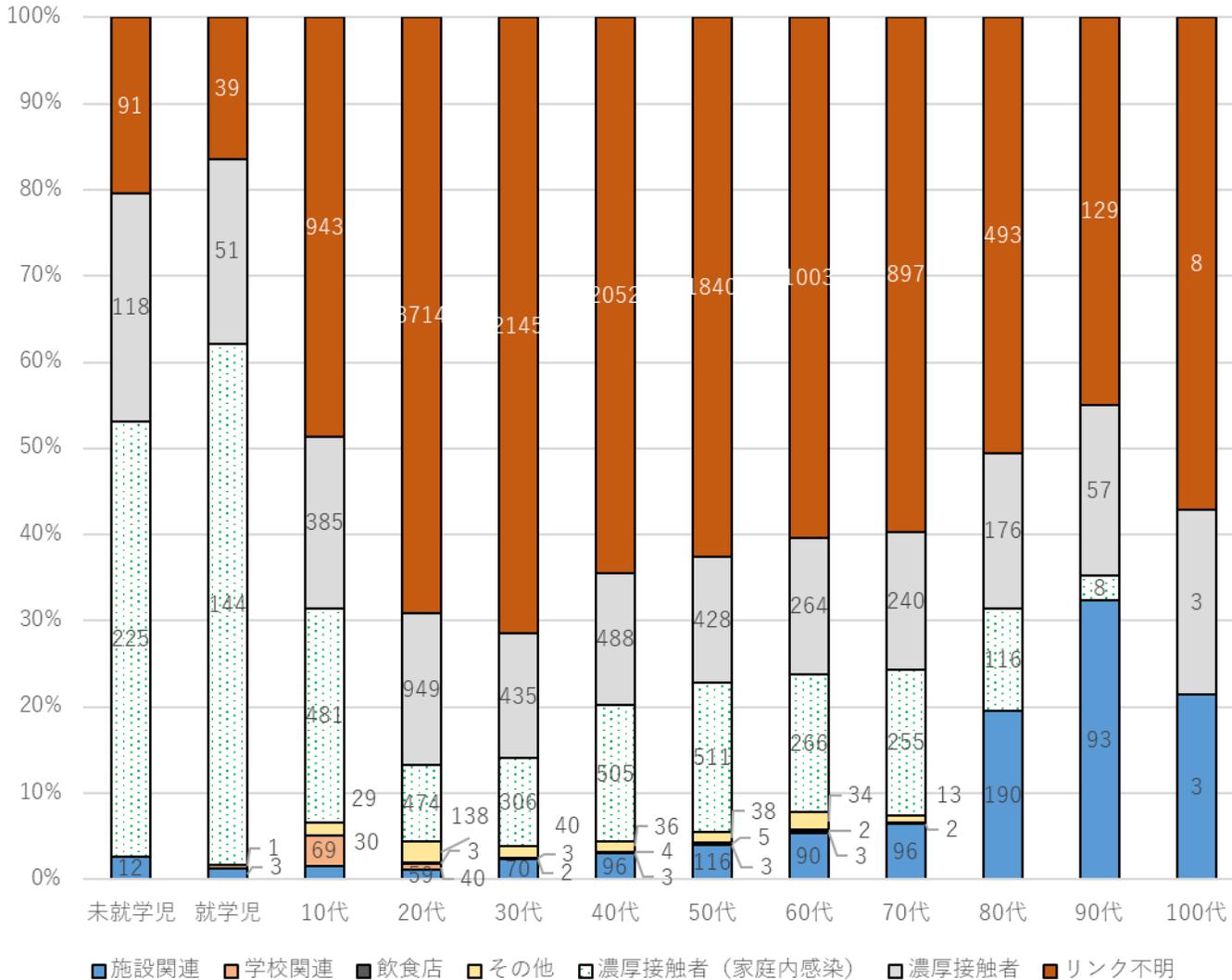
感染経路の状況（大阪市内外）



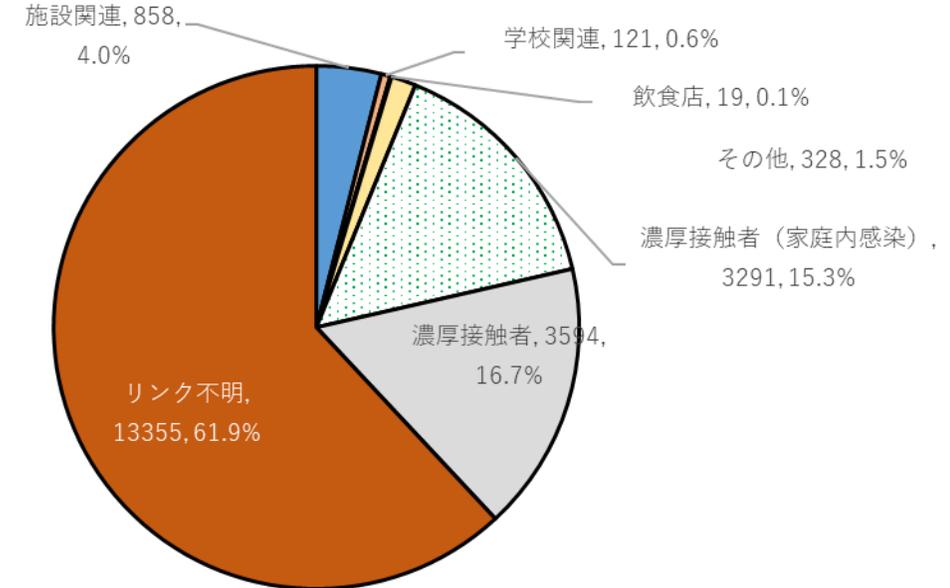
感染経路（第四波）

（3月1日以降4月19日までに判明した21,566事例の状況）

年代別感染経路



全年代感染経路



< 全年代感染経路 >

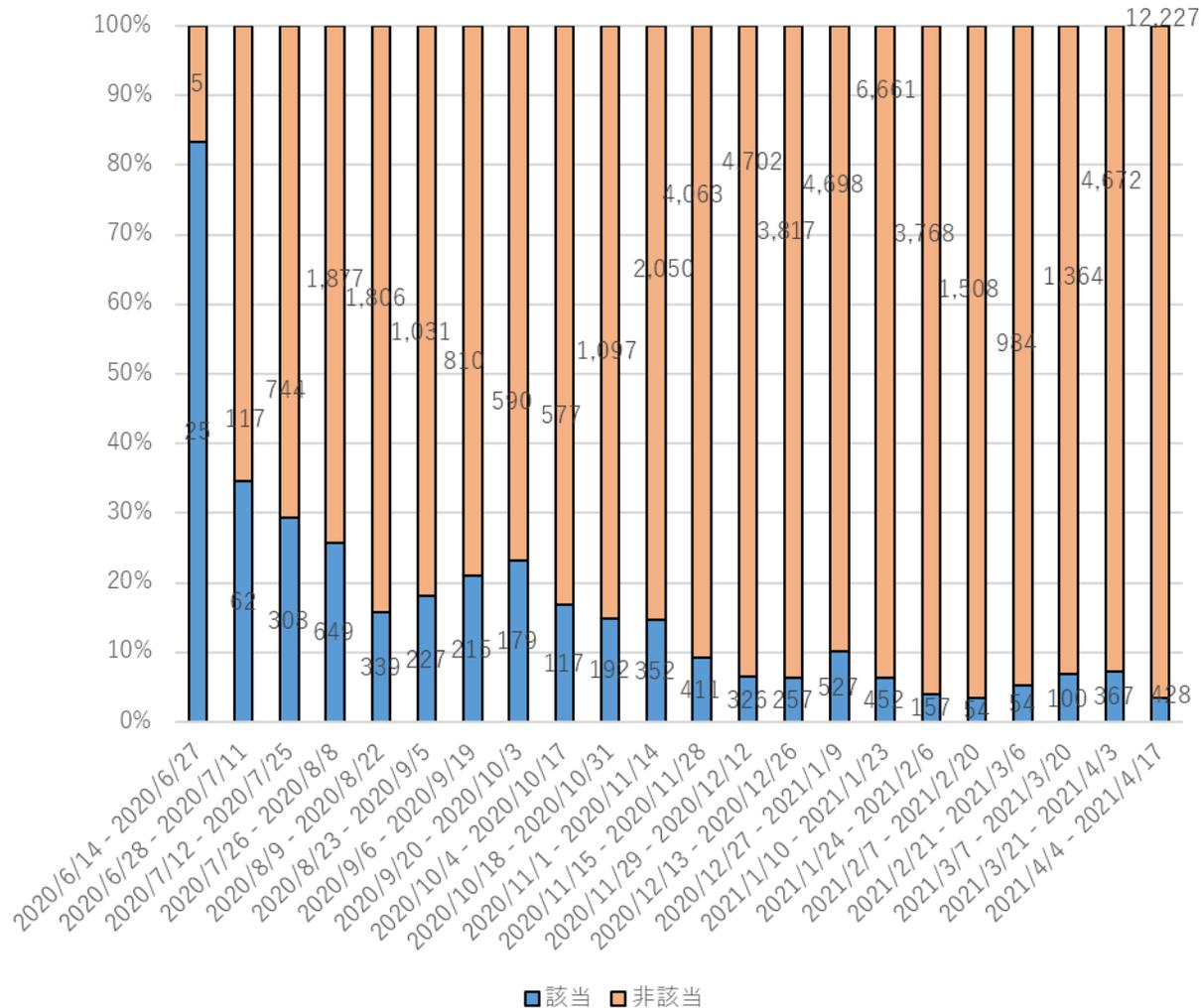
時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
第四波 (4/19まで)	4.0%	0.6%	0.1%	1.5%	15.3%	16.7%	61.9%

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

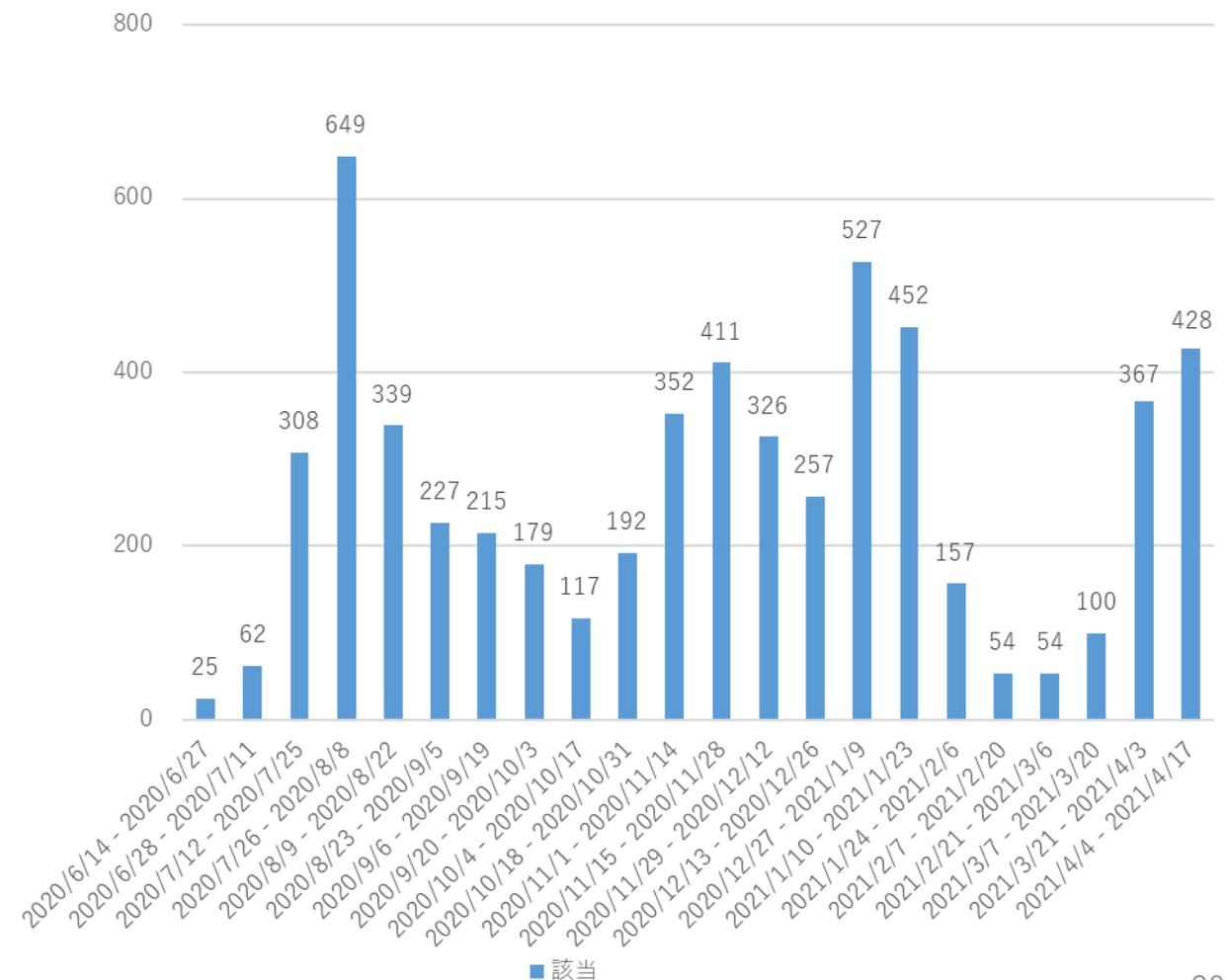
陽性者に占める夜の街の関係者及び滞在者の人数の割合は、直近2週間で減少。
 実数は、1月の緊急事態宣言発出後並み。

（6月14日以降4月17日までに判明した64,964事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

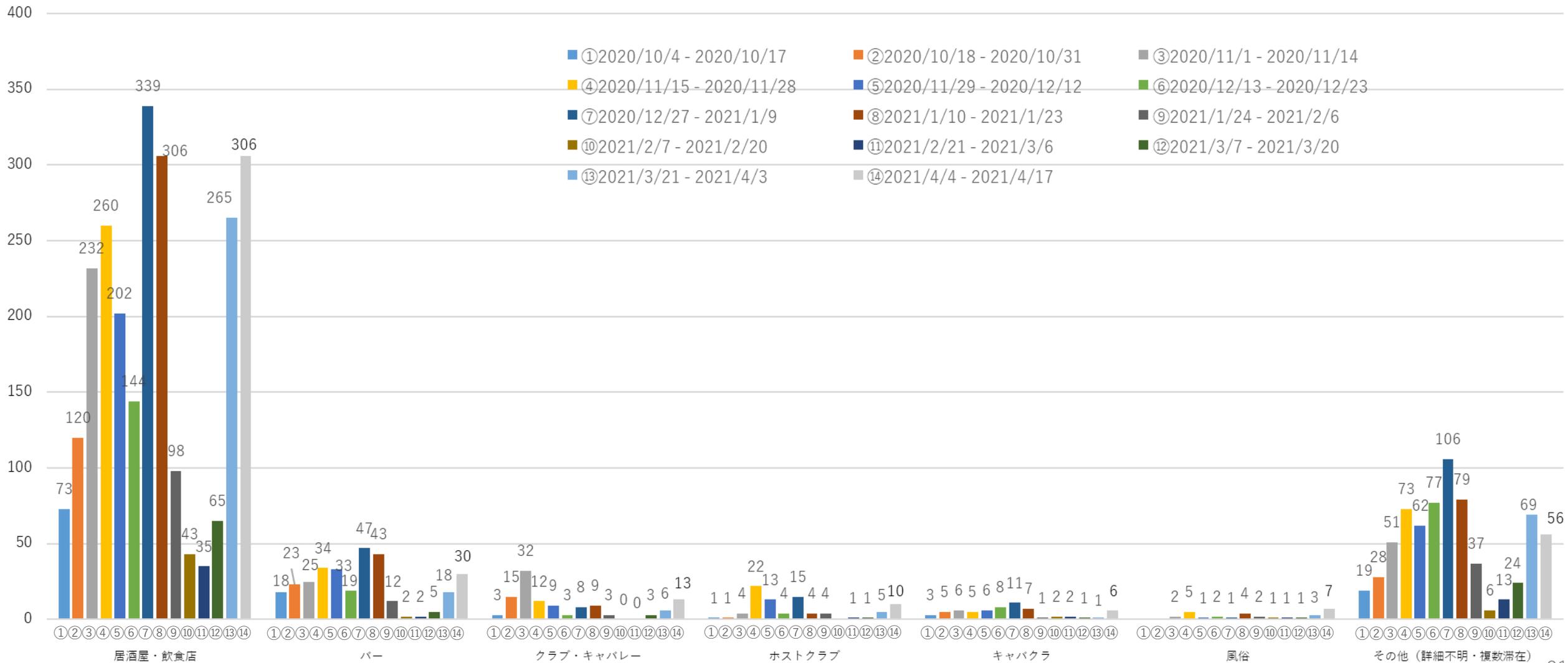


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在分類別の状況

夜の街の滞在分類として、居酒屋・飲食店は依然多く、1月の緊急事態宣言発出後並み。

(10月4日以降4月17日までに判明した3,794事例の状況)

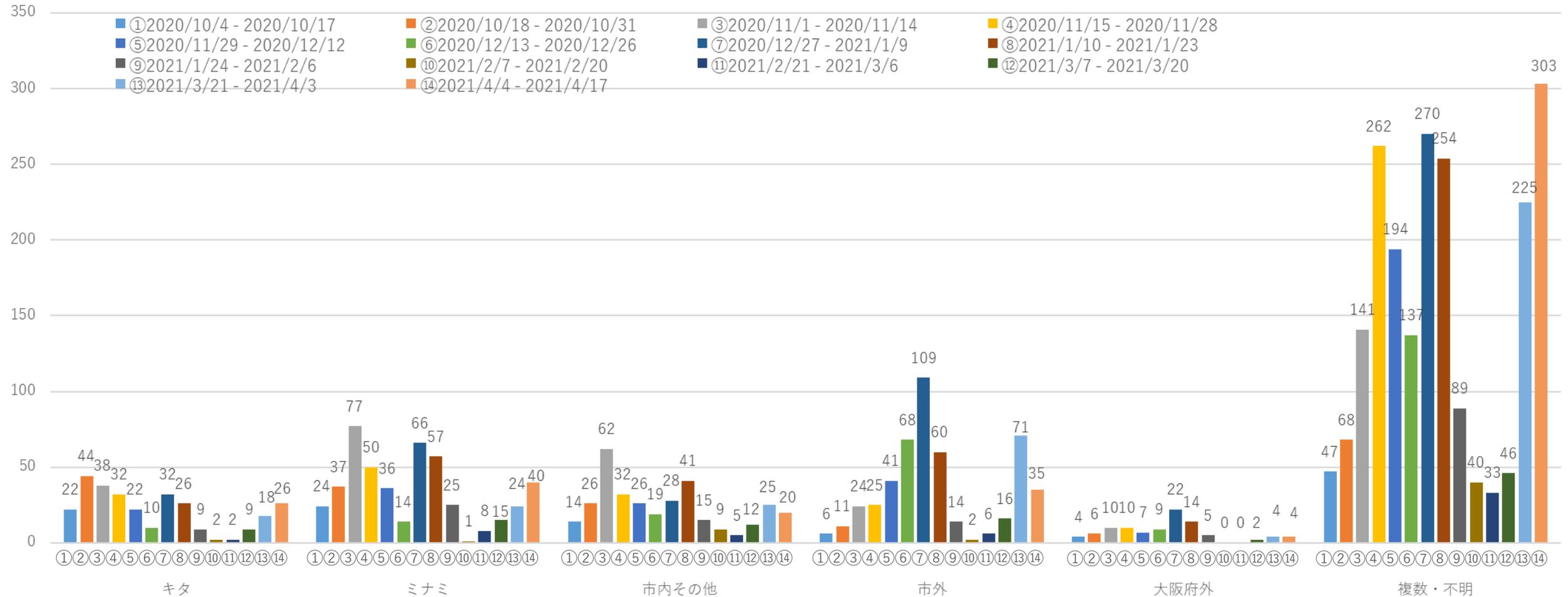


※滞在先の分類は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在エリア別の状況

夜の街の滞在エリアは、キタ・ミナミともに、緊急事態宣言解除後、増加し続けている。

(10月4日以降4月17日までに判明した3,794事例の状況)

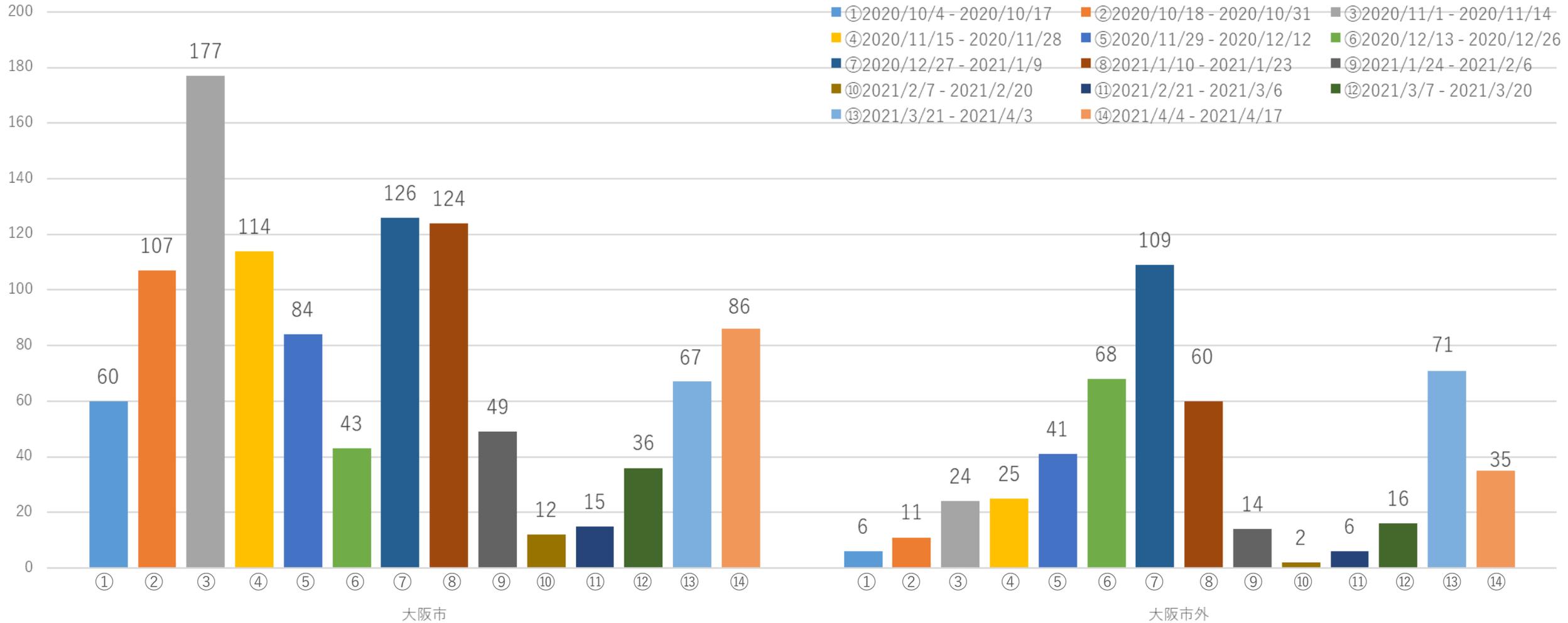


※滞在エリアの分類は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在エリア別の状況

夜の街の滞在エリアは、大阪市は緊急事態宣言解除後、増加し続けている。市外は直近2週間でやや減少。

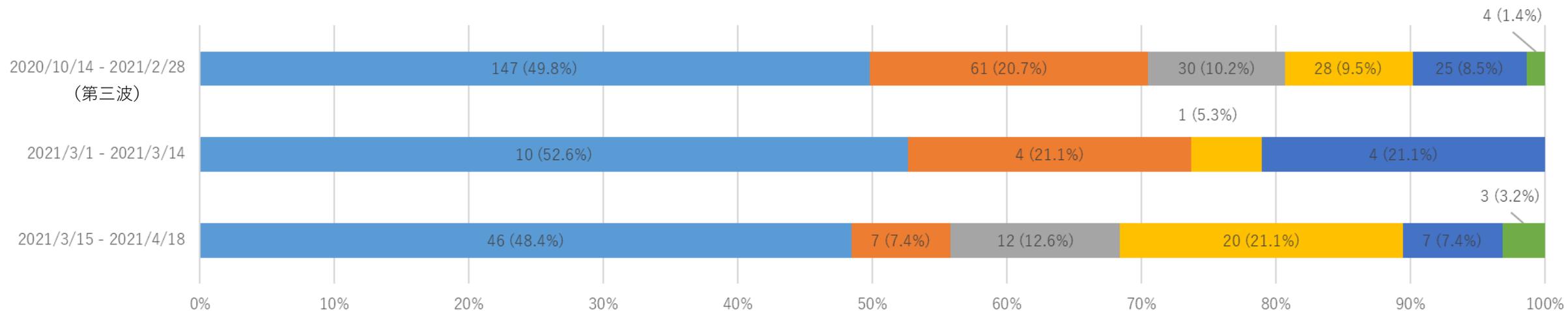
(10月4日以降4月17日までに判明した3,794事例の状況)



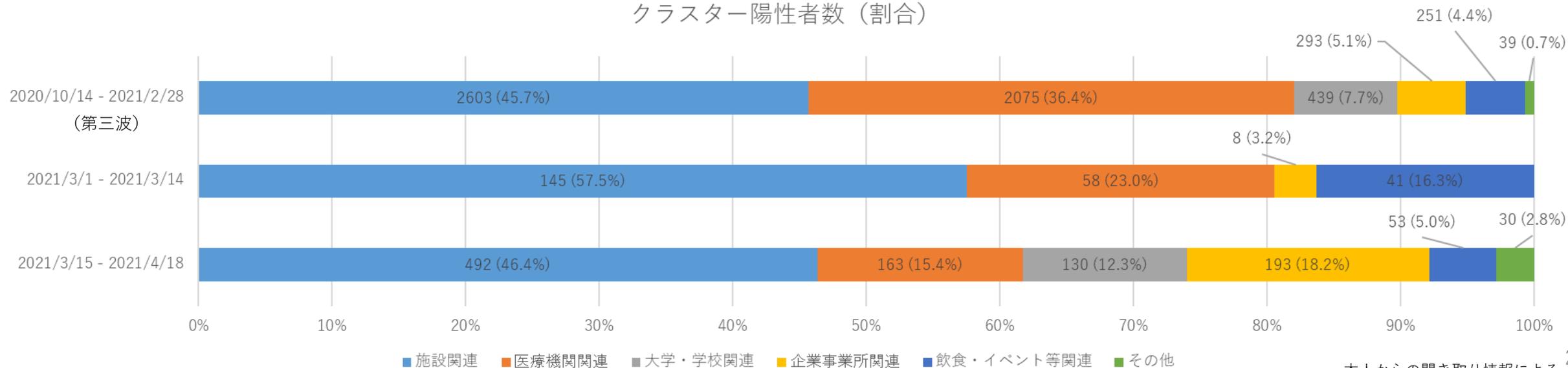
第三波から第四波にかけてのクラスター状況

第四波当初(三月上旬から中旬)は、飲食・イベント等関連の割合が多かったが、三月中旬以降減少し、企業事業所関連が急増。大学・学校関連の割合も増加。

クラスター数 (割合)



クラスター陽性者数 (割合)

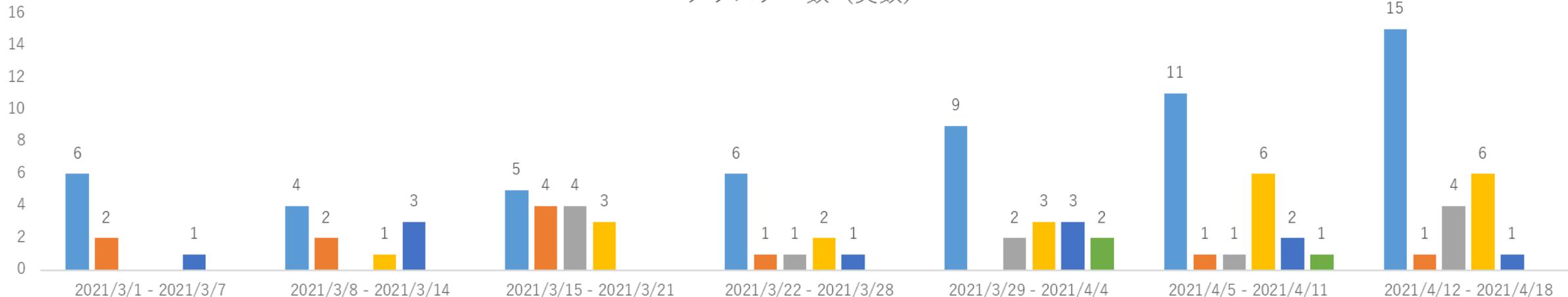


■ 施設関連 ■ 医療機関関連 ■ 大学・学校関連 ■ 企業事業所関連 ■ 飲食・イベント等関連 ■ その他

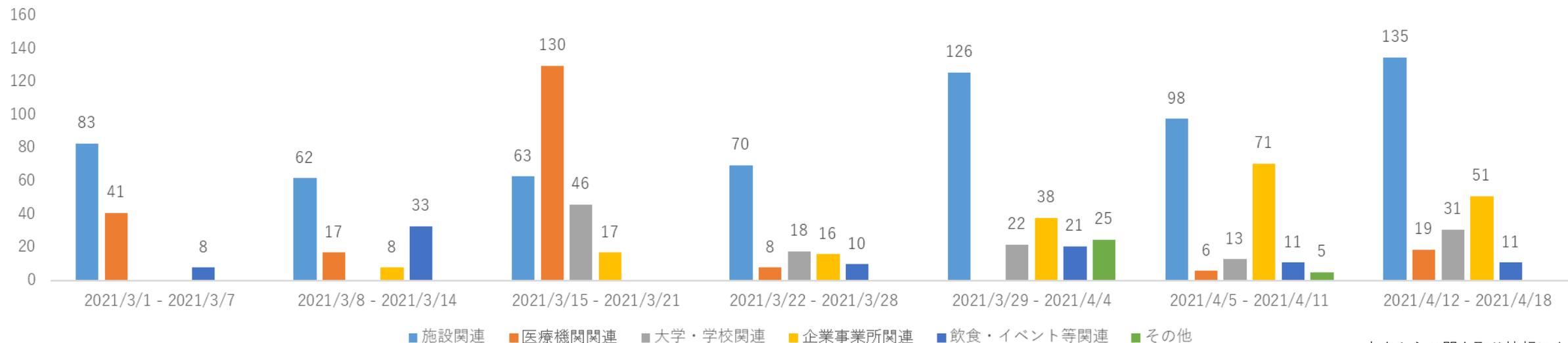
第四波のクラスター状況

クラスターは、種別・陽性者数ともに、直近1か月で施設関連及び企業事業所関連が急増。
 大学・学校関連は3月中旬以降、一定数発生。

クラスター数（実数）



クラスター陽性者数（実数）



■ 施設関連 ■ 医療機関関連 ■ 大学・学校関連 ■ 企業事業所関連 ■ 飲食・イベント等関連 ■ その他